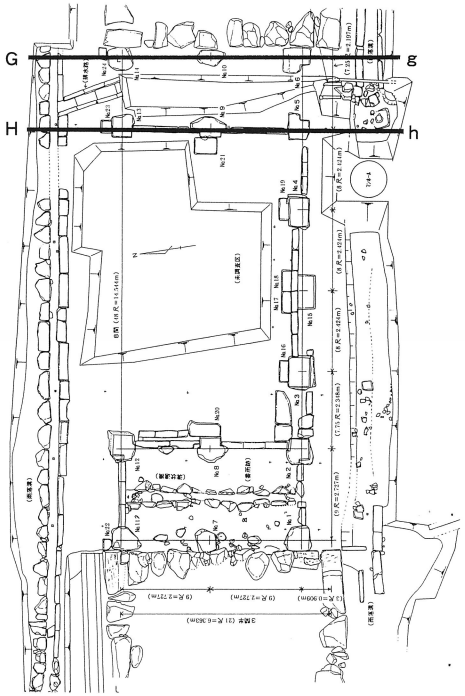
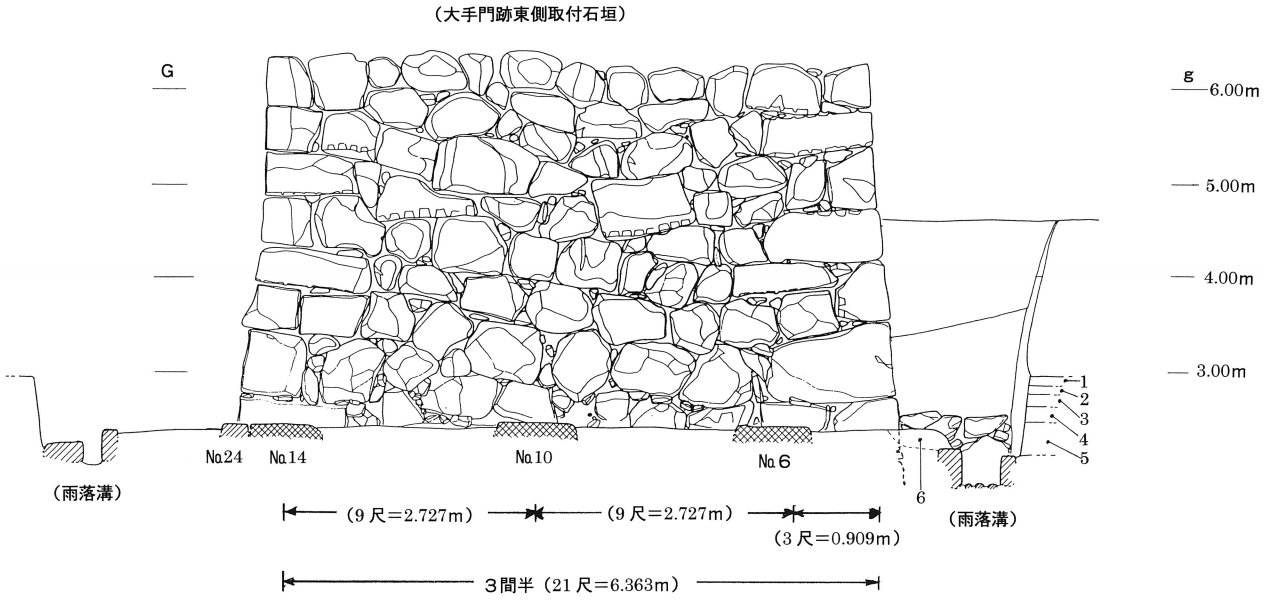
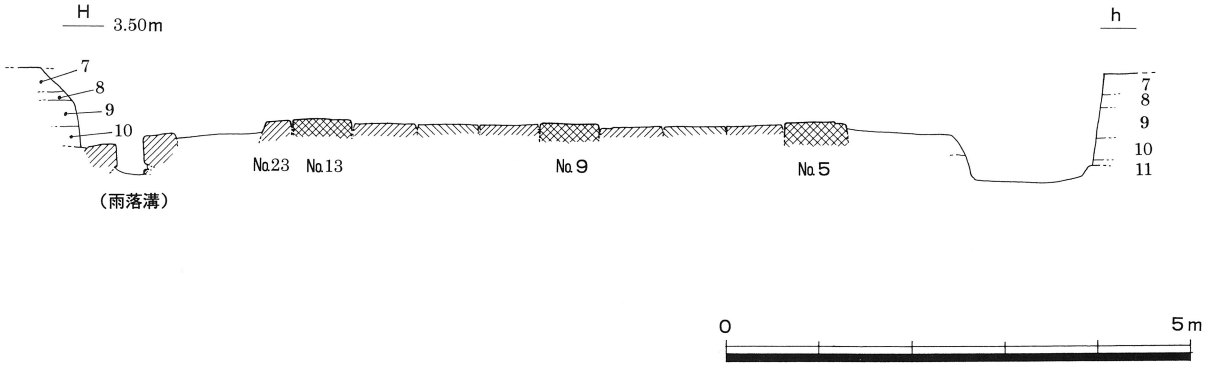


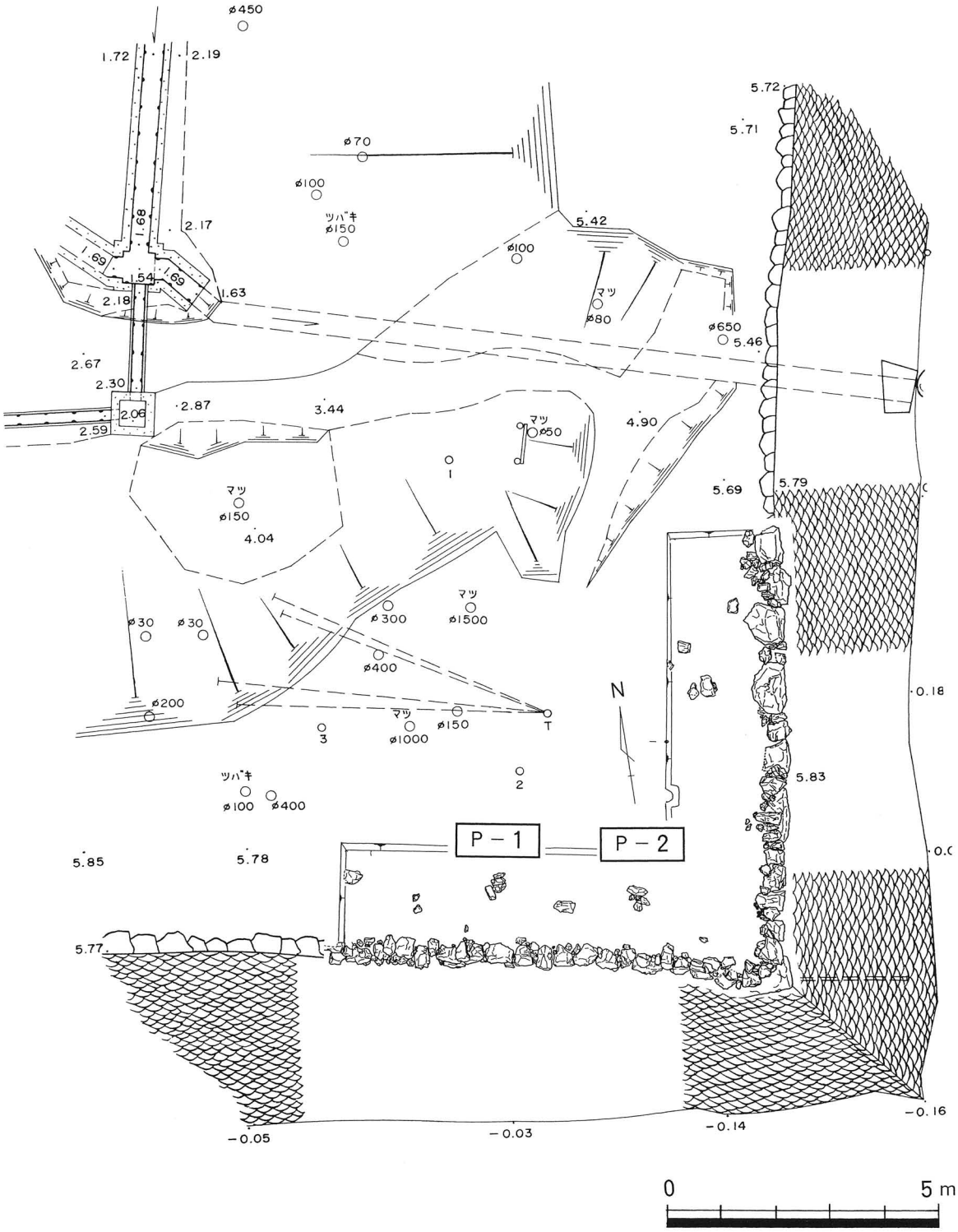
松江城大手門跡遺構平面図



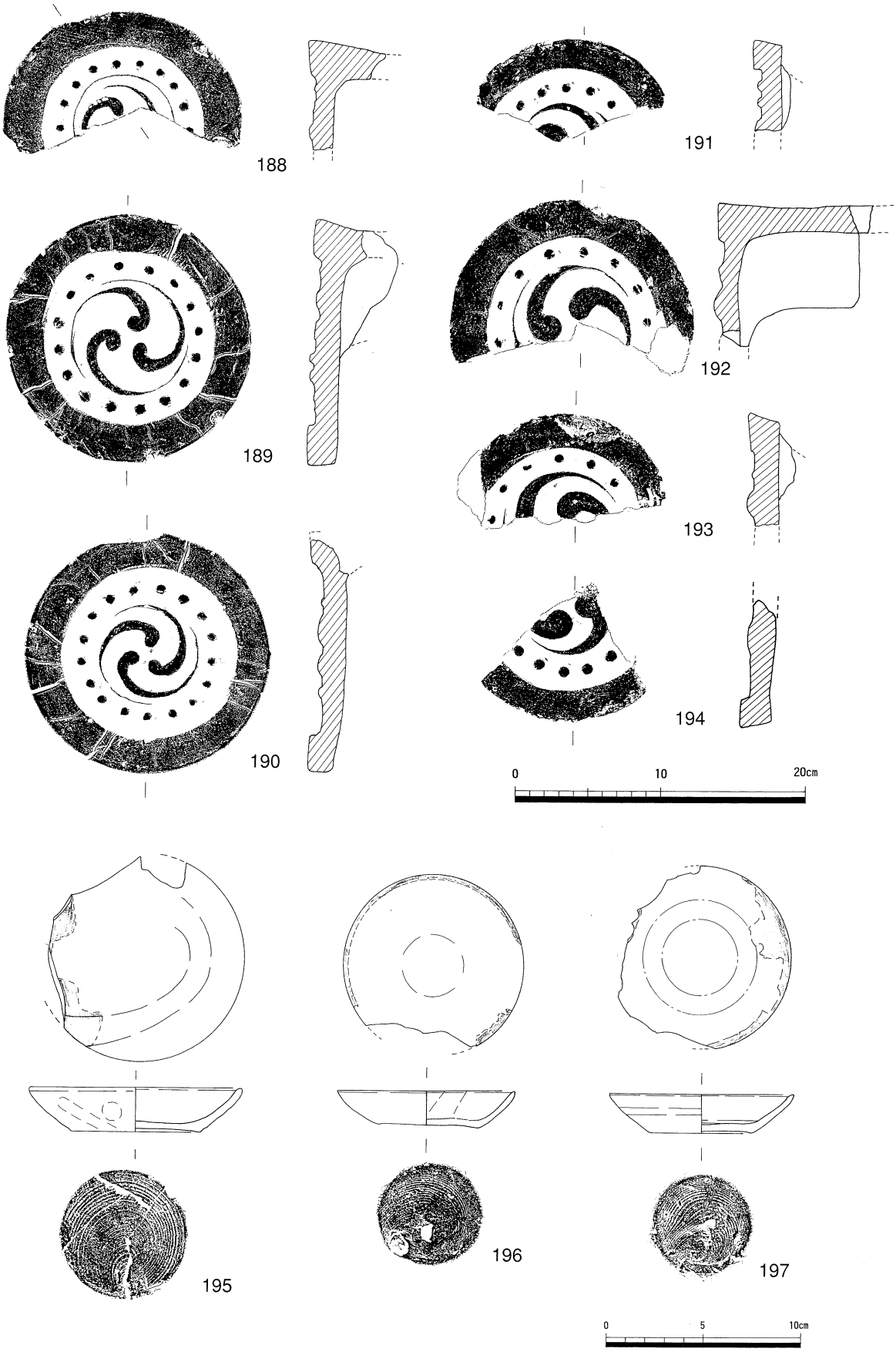


1. 灰色砂利層（現代）
2. 黄色砂利層（現代）
3. 黒灰色砂質土
4. 黄褐色粘質土
5. 灰色粘質土
6. 淡灰色粘質土
7. 砂利層（現代）
8. 黒灰色土
9. 暗黄灰褐色土
10. 暗灰褐色粘質土
11. 橙褐色砂質土

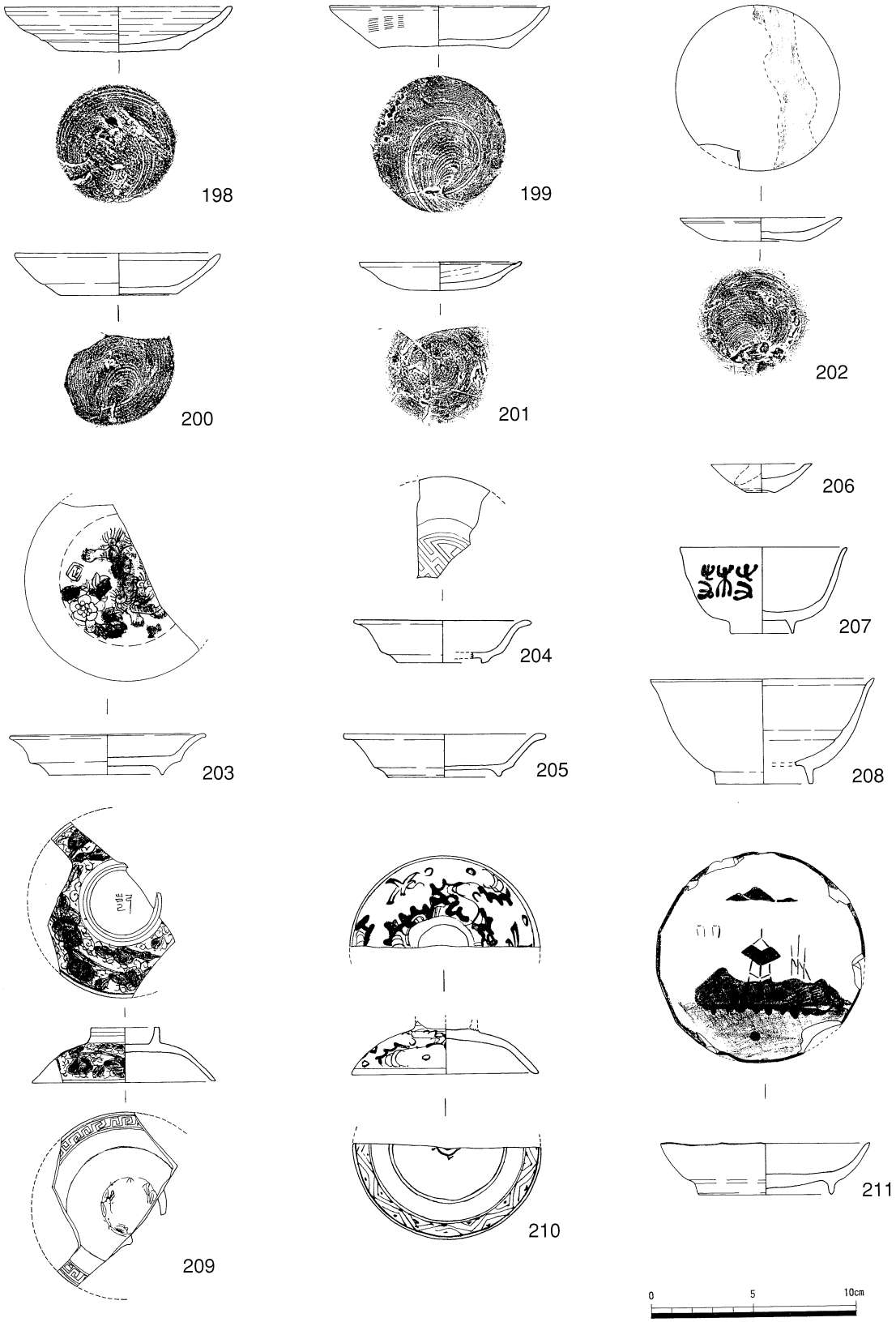
第54図　松江城大手門跡南北断面図



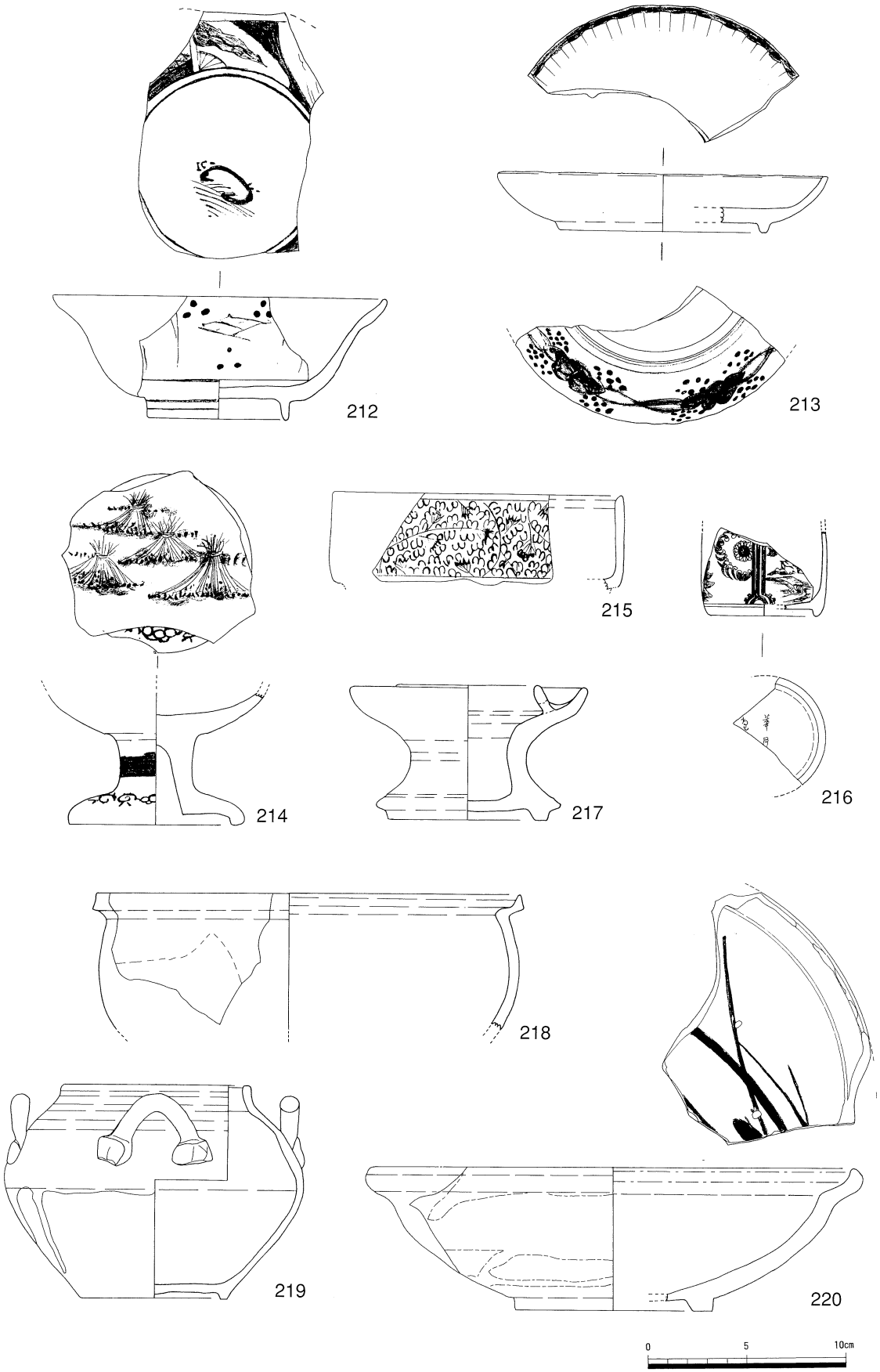
第55図　二之丸下之段南東角堀石垣平面図



第56図　大手門跡出土遺物実測図



第57図　大手門跡出土遺物実測図



第58図　大手門跡出土遺物実測図

第４章　松江城出土軒瓦について

平成７～12年度までの発掘調査で検出された軒瓦について、その形態と文様の特徴から軒丸瓦を10種類、軒平瓦を10種類に分類した。（※分類表は時期的変遷を示すものではない。）

【軒丸瓦Ａ類】巴文の頭部が右向き、尾部が左向きのもの。

種　別	形　態　の　特　徴
Ａ－１類	瓦当面径は大きい。珠文は密に巡る（17個程度）。巴文は彫りが深く、細い。巴文帯と珠文帯の間に細い圏線がある。
Ａ－２類	瓦当面径は小振り。珠文は密に巡る（19個程度）。巴文は彫りが深く、細い。圏線はない。
Ａ－３ａ類	瓦当面径は普通。珠文はやや粗く巡る（16個程度）。巴文は彫りが浅く、細い。圏線はない。
Ａ－３ｂ類	瓦当面径は普通。珠文はやや粗く巡る（16個程度）。巴文は彫りが深く、やや太い。圏線はない。
Ａ－４類	瓦当面径は大きい。珠文はやや粗く巡る（16個程度）。巴文は彫りが深く、太い。圏線はない。
Ａ－５類	瓦当面径は普通。珠文は大きく、やや密に巡る（16～17個程度か？）。巴文は彫りが深く、太い。圏線はない。

【軒丸瓦Ｂ類】巴文の頭部が左向き、尾部が右向きのもの。

種　別	形　態　の　特　徴
Ｂ－１類	瓦当面径は小振り。珠文は粗く巡る（13個程度）。巴文は彫りが深く、太い。圏線はない。
Ｂ－２類	瓦当面径は普通。珠文は密に巡る（16個程度）。巴文は彫りが深く、太い。圏線はない。
Ｂ－３類	瓦当面径は小振り。珠文は大きく、密に巡る。巴文はやや太い。圏線はない。

【軒丸瓦Ｃ類】瓦当面に巴文以外の文様を持つもの。

種　別	形　態　の　特　徴
Ｃ－１類	瓦当面径は大きい。瓦当面に分銅文を持つ。

【軒平瓦ａ類】唐草文が左右対象に２個づつ配されるもの。

種　　別	形　態　の　特　徴
ａ－１ａ類	中心飾りは３葉で葉脈を表現する。唐草文は外側は上方、内側は下方に巻く。彫りはやや浅く繊細。
ａ－１ｂ類	ａ－１ａ類とほぼ同じ文様構成であるが、唐草の巻きが弱い。
ａ－２類	中心飾りは３葉で葉脈は簡単に表現する。唐草文は外側は下方、内側は上方に巻く。全体に彫りが深くシャープ。外区に分銅文のあるものは１例のみ。
ａ－３類	文様構成はａ－２類に似るが、文様帯の上下幅がやや狭く、彫りがやや浅い。
ａ－４類	中心飾りは３葉で葉脈は簡単に表現する。唐草文は外側は下方、内側は上方に巻くが、巻きは弱い。
ａ－５類	文様構成はａ－４類に似るが、文様帯の上下幅がやや狭く、彫りがやや浅い。

【軒平瓦ｂ類】唐草文が左右対象に3個、またはそれ以上に配されるもの。

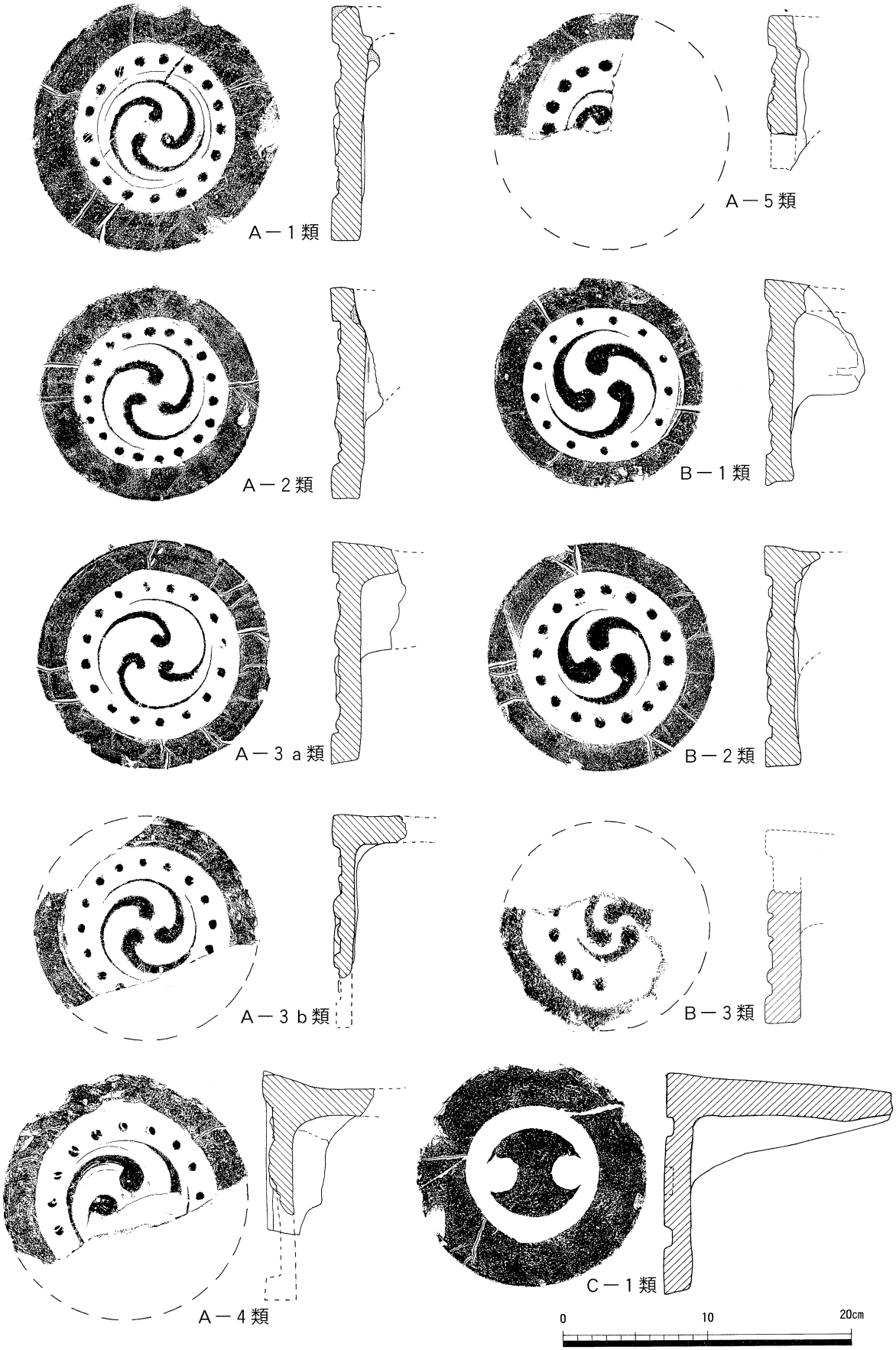
種　　別	形　態　の　特　徴
ｂ－１ａ類	中心飾りは５葉で葉脈は表現しない。全体に太い線で表現される。
ｂ－１ｂ類	ｂ－１ａ類とほぼ同じ文様構成であるが、唐草文が雲形を呈する。
ｂ－２類	文様が退化し、中心飾りと唐草文との区別がつかない。
ｂ－３類	文様が退化し、中心飾りと唐草文との区別がつかない。

これらのうち、比較的多数検出されたものは、軒丸瓦ではＡ－３ａ，ｂ類、Ｂ－１類、Ｂ－２類、軒平瓦ではａ－２類、ａ－５類であり、各調査区から出土している。一方少数のものは、軒丸瓦ではＡ－２類、Ａ－５類、Ｂ－３類、Ｃ－１類（１個体のみ）、軒平瓦ではａ－３類、ｂ－１ｂ類、ｂ－３類（１個体のみ）である。

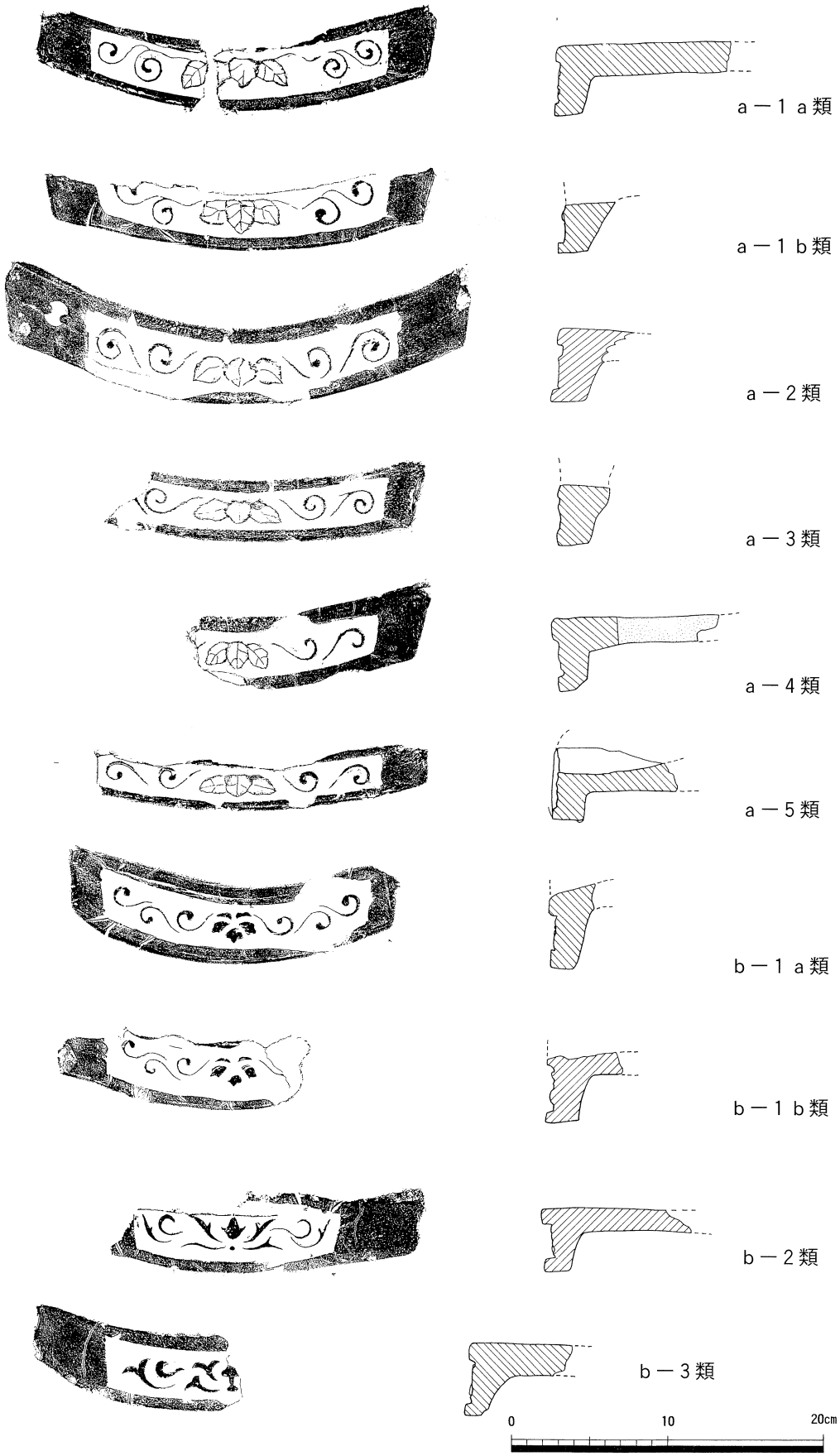
二之丸地区の櫓跡で共通して多く出土したものは、軒丸瓦ではＡ－３ａ類とＢ－２類、軒平瓦ではａ－２類であり、いずれも文様のシャープなタイプのものである。

軒瓦の実年代と各形式間の時期差については明確にはし得ないが、中櫓跡北側水路から検出された軒平瓦ａ－２類、太鼓櫓西方のＳＫ－01から検出された軒丸瓦Ｃ類は分銅文を持つものであることから、堀尾氏が城主であった時期（1611～1633年）のものであることが推定される。

また、17世紀初頭の遺構と推定される太鼓櫓西方のＳＫ－01中からは、軒丸瓦Ｃ類の他に軒丸瓦Ａ－１～４類、軒平瓦ａ－１ｂ類、ａ－２類が検出されていることから、これらのタイプは古相を示すタイプであることが考えられる。



第59図　軒丸瓦分類表



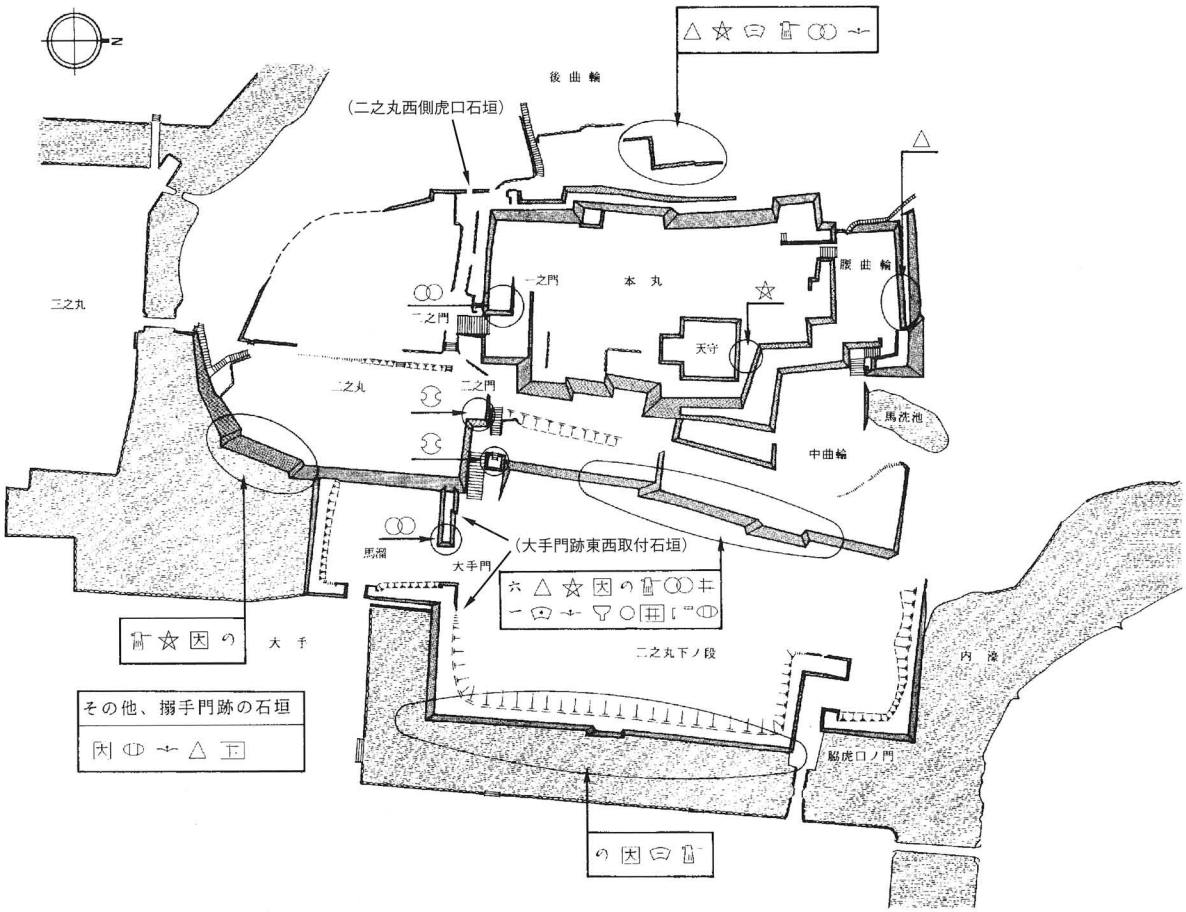
第60図　軒平瓦分類表

第5章　石垣刻印調査

松江城の石垣刻印については、堀尾氏の分銅紋をはじめ15余りの種類が知られているが、昭和48～53年に恩田清氏によって調査されたのが初まりで、「松江城石の刻印野帳」と標題のついた野帳に刻印の種類とその位置が記されている。その後は河井忠親氏や島田成矩氏等の文献の中で紹介され、①分銅紋、②輪違い紋、③扇紋、④鱗紋、⑤阿部晴明判紋、⑥字紋（の）、⑦字紋（因）、⑧鉞紋、⑨井筒紋、⑩雁紋、⑪杯紋、⑫餅紋、⑬井文字紋、⑭字紋（出の変形）、⑮船紋などが確認されている。これらの刻印は築城した堀尾氏の分銅紋をはじめ、石垣普請の際に協力した大名諸氏の紋であると考えられている。

これらの刻印は、1個または複数（2～3個）が積石の表面、上面、下面、裏面などに刻まれており、刻印の部位から石垣を積む前に刻まれたことが推定される。いずれも鏨のような工具で陰刻したものであるが、中曲輪東面の石垣では墨書による雁紋が見られる。城内での刻印の分布には偏りが見られ、本丸の石垣にはほとんど無く、二之丸南側の高石垣、中曲輪東面石垣、大手門跡東側取付石垣、城山東側堀石垣では多く見られる。

平成8年度からの石垣解体修理に併せて修理範囲内での石垣刻印調査を実施した結果は以下のとおりである。



第61図　刻印分布図

(1) 大手門跡東西取付石垣・二之丸高石垣

平成８～９年度の二之丸高石垣、大手門跡東西取付石垣の石垣修理に伴い、解体した石垣について刻印調査を実施した。その結果、二之丸高石垣では２個、大手門跡西側取付石垣では２個、大手門跡東側取付石垣では29個の石材に合計37個の刻印が見られた。

■刻印集計表（※氏族名は島田成矩著『堀尾吉晴』を参考とした）

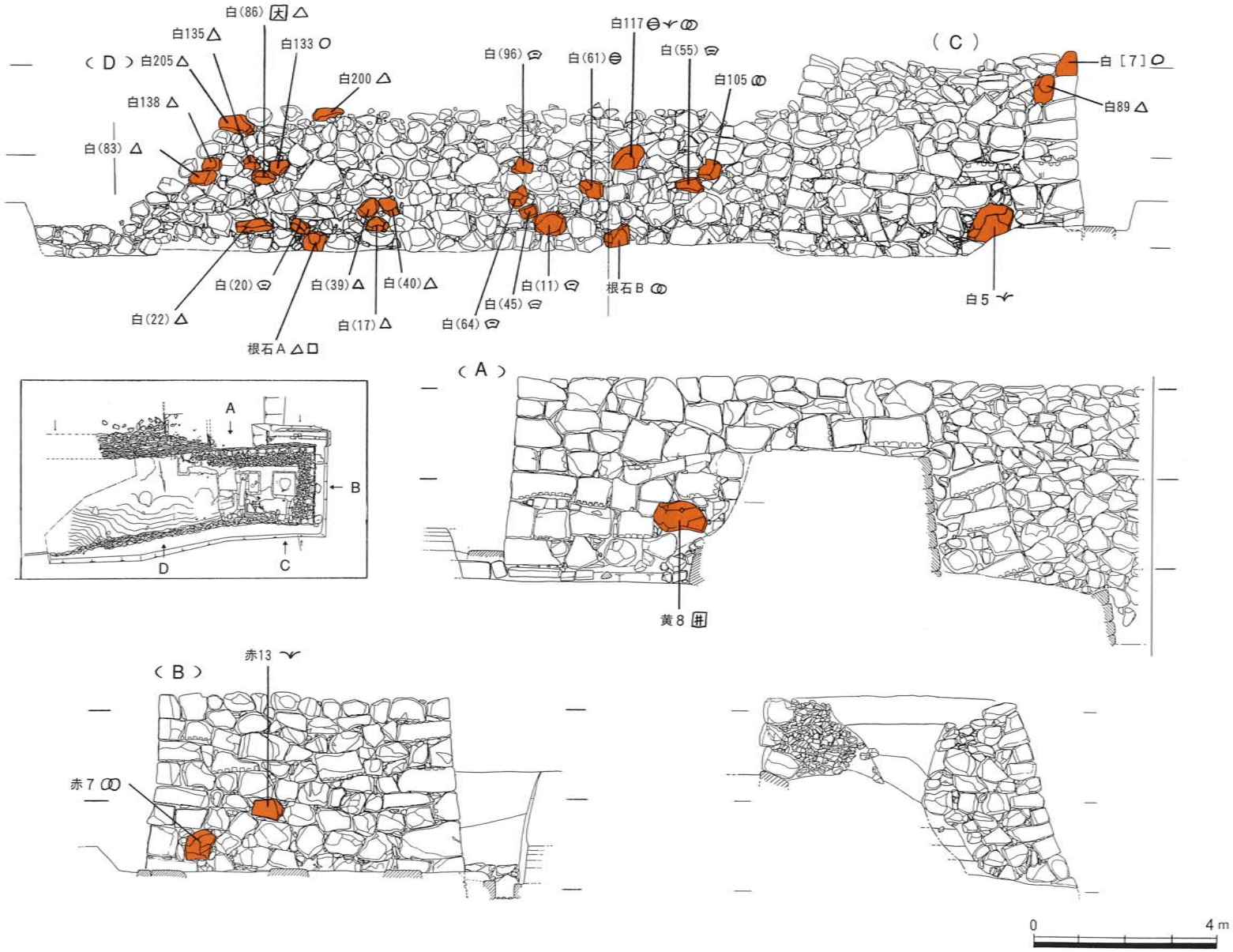
調査箇所	種　　別（氏族名）	個　　数
二之丸高石垣	井桁紋（前田氏または堀尾氏）	1
	扇紋（生駒氏）	1
大手門跡西側取付石垣	輪違い紋（石川氏または脇坂氏）	2
大手紋跡東側取付石垣	井桁紋（前田氏または堀尾氏）	1
	輪違い紋（石川氏または脇坂氏）	4
	鱗紋（福島氏）	13
	扇紋（生駒氏）	5
	雁紋（毛利氏）	4
	大文字紋（大久保氏）	1
	名称不明	2
	名称不明	2
	名称不明	1
合　　計		37

調査の結果、刻印の付けられている位置を見ると、石の前面だけでなく、上面や下面、石尻などの各面にわたり、石の自然面や割り面に見られるが、特徴的な点は大手門跡東側取付石垣には刻印が多く見られることである。このことは、二之丸高石垣が幕末に積み直された間知積み風の石垣であり、その際に築城時には使われなかった緑色凝灰質砂岩（刻印なし）が持ち込まれたり、旧石でも積み直しにあたって再加工されたことと関連があり、その際に刻印が失われた可能性が考えられる。大手門跡西側取付石垣についても築城以後に積み直しを受けた形跡が見られ、同様のことが言える。逆に大手門跡東側取付石垣は、石垣南面及び東面は昭和42年に一度修理されているが、北面の下半部は江戸初期の野面積みの特徴を良く残し、改変されていないものと推察されることから、刻印が良く残っているものと考えられる。

	石　垣　名	石番号	刻印種別	備考
1	二之丸高石垣－1		石裏面 井	
2	〃　　－2		不明	
3	大手門跡西側取付石垣－1		石裏面	
4	〃　　－2		不明	角石
5	大手門跡東側取付石垣Ａ－1	黄－8	石前面 井	
6	〃　　Ｂ－1	赤－7	石側面	
7	〃　　Ｂ－2	赤－13	石裏面	
8	〃　　Ｃ－1	白－[7]	石上面	角石
9	〃　　Ｃ－2	白－5	石裏面	
10	〃　　Ｃ－3	白－89	石上面 △	
11	〃　　Ｄ－1	白－(11)	石上面	
12	〃　　Ｄ－2	白－(17)	石側面 △	
13	〃　　Ｄ－3	白－(20)	石下面	
14	〃　　Ｄ－4	白－(22)	石上面 △	
15	〃　　Ｄ－5	白－(39)	石上面 △	
16	〃　　Ｄ－6	白－(40)	石下面 △	
17	〃　　Ｄ－7	白－(45)	石上面	
18	〃　　Ｄ－8	白－(55)	石側面	
19	〃　　Ｄ－9	白－(61)	石上面	
20	〃　　Ｄ－10	白－(64)	石上面	
21	〃　　Ｄ－11	白－(83)	石上面 △	
22	〃　　Ｄ－12	白－(86)	石上面 大　石側面 △	
23	〃　　Ｄ－13	白－(96)	石上面	
24	〃　　Ｄ－14	白－105	石側面	
25	〃　　Ｄ－15	白－117	石上面	
26	〃　　Ｄ－16	白－133	石裏面	
27	〃　　Ｄ－17	白－135	石下面 △	
28	〃　　Ｄ－18	白－138	石上面 △	
29	〃　　Ｄ－19	白－200	石上面 △	
30	〃　　Ｄ－20	白－205	石下面 △	
31	〃　　Ｄ－21	白－不明	石下面 △	
32	〃　　根石－1		石前面 △ □	北側根石列
33	〃　　根石－2		石上面	北側根石列

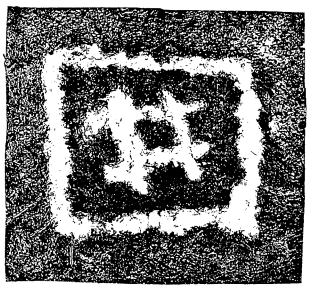
※Ａ面（南面）、Ｂ面（西面）、Ｃ面（大手門側北面）、Ｄ面（土居側北面）

第62図　石垣刻印調査票



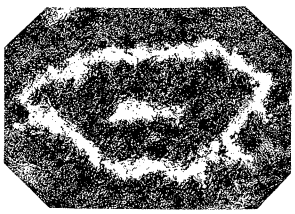
第63図　大手門跡東側取付石垣刻印調査

高石垣A



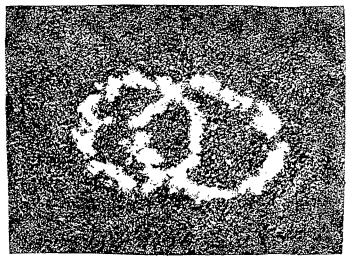
【No.不明・石尻面】

高石垣B



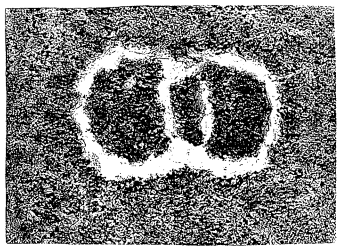
【No.不明・場所不明】

取付西A



【赤38・石尻面】

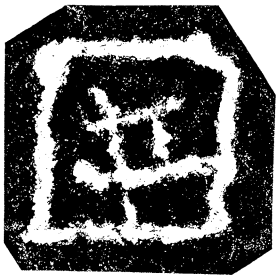
取付西B



【No.不明・場所不明】

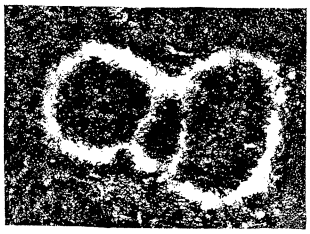
第64図　二之丸高石垣・大手門跡西側取付石垣刻印

A－1



【黄８・石前面】

B－1

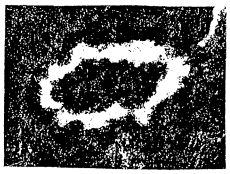


【赤７・石側面】

B－2

【赤13・石尻面】

C－1

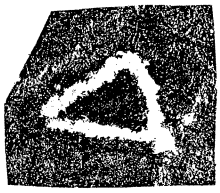


【白角石７・石上面】

C－2

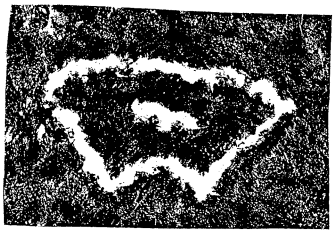
【白５・石尻面】

C－3



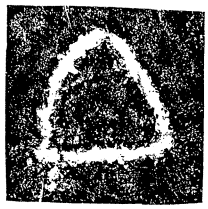
【白89・石上面】

D－1



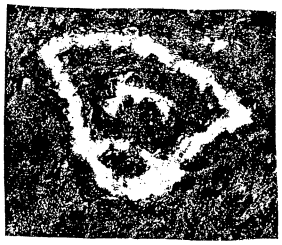
【白(11)・石上面】

D－2



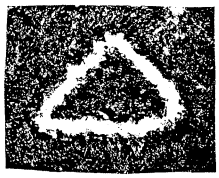
【白(17)・石側面】

D－3



【白(20)・石下面】

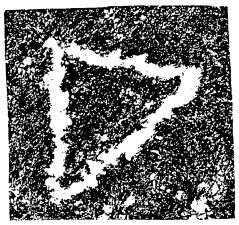
D－4



【白(22)・石上面】

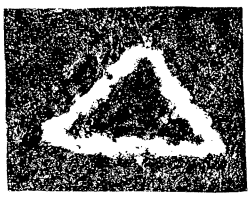
第65図　大手門跡東側取付石垣刻印

D－5



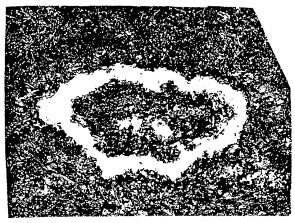
【白(39)・石上面】

D－6



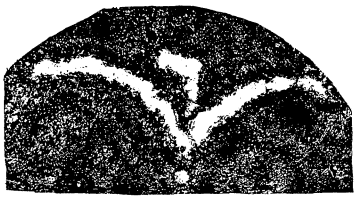
【白(40)・石下面】

D－7



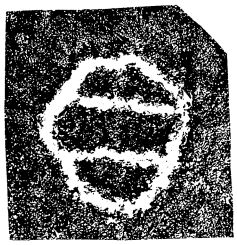
【白(45)・石上面】

D－8



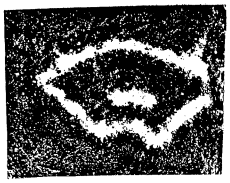
【白(55)・石側面】

D－9



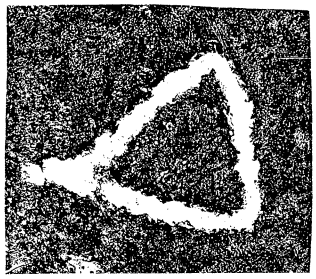
【白(61)・石上面】

D－10



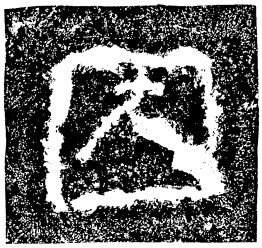
【白(64)・石上面】

D－11



【白(83)・石上面】

D－12

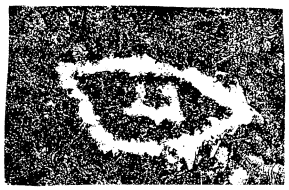


【白(86)・石上面】

D－12

【白(86)・石側面】

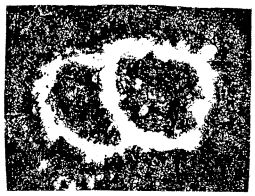
D－13



【白(96)・石上面】

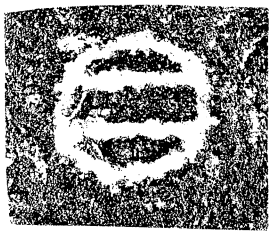
第66図　大手門跡東側取付石垣刻印

D－14



【白(105)・石側面】

D－15

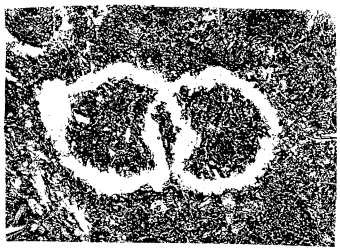


【白(117)・石上面】

D－15

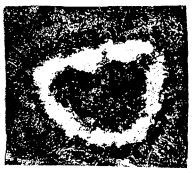
【白(117)・石上面】

D－15



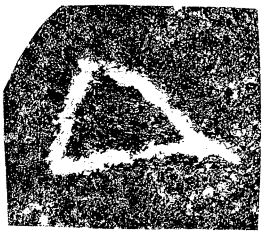
【白(117)・石上面】

D－16



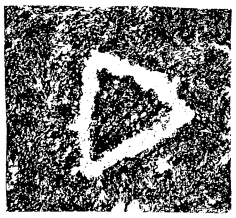
【白(133)・石尻面】

D－17



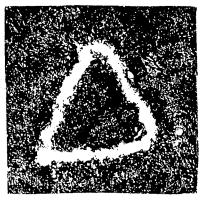
【白(135)・石下面】

D－18



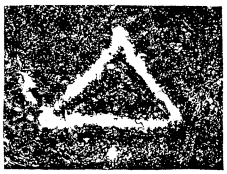
【白(138)・石上面】

D－19



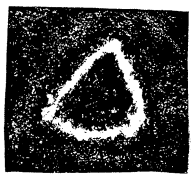
【白(200)・石上面】

D－20



【白(205)・石下面】

D－21



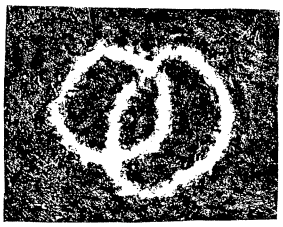
【白No.不明・石下面】

第67図　大手門跡東側取付石垣刻印

根石A

【No.なし・石前面】

根石B



【No.なし・石上面】

第68図　大手門跡東側取付石垣刻印

(2) 二之丸西側虎口石垣

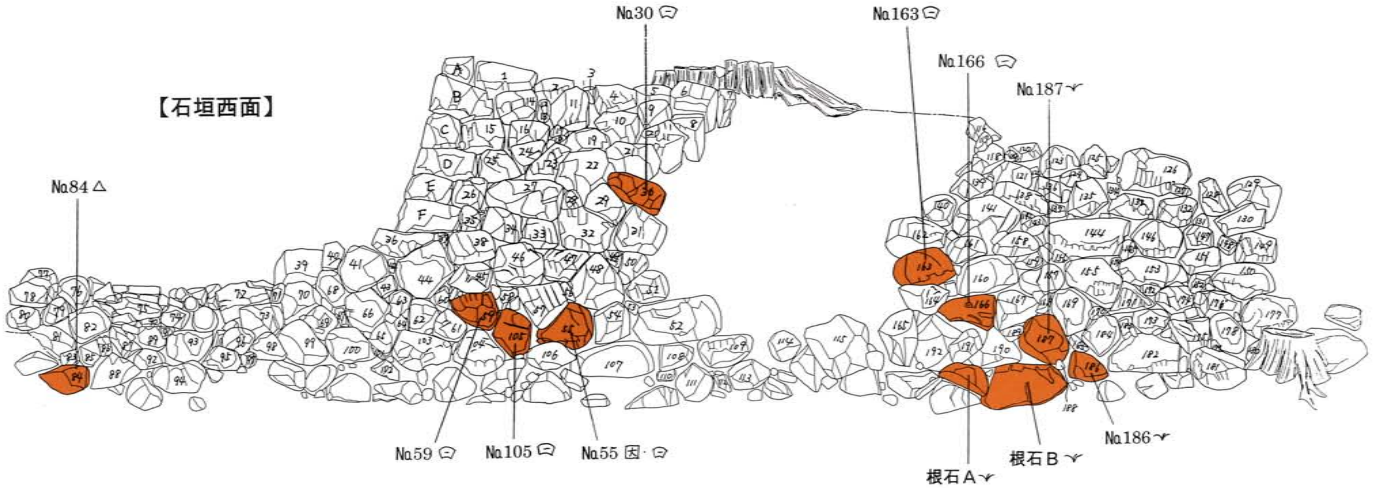
平成10年度の二之丸西側虎口石垣の災害復旧工事に併せて解体した石垣について刻印調査を実施した。その結果、11個の石材に合計12個の刻印が見られた。

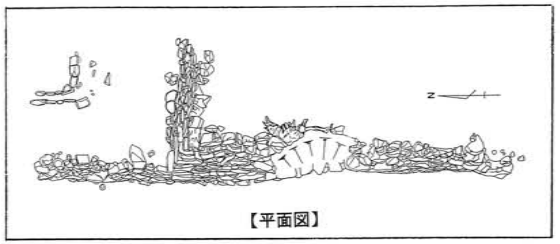
■刻印集計表（※氏族名は島田成矩著『堀尾吉晴』を参考とした）

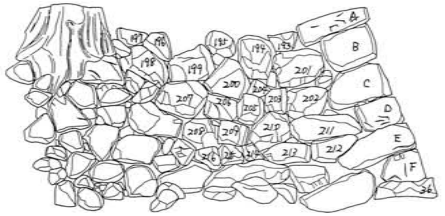
調査箇所	種　　別（氏族名）	個　　数
二之丸西側虎口石垣	扇紋（生駒氏）	6
	雁紋（毛利氏）	4
	鱗紋（福島氏）	1
	大文字紋（大久保氏）	1
合　　計		12

第69図　石垣刻印調査票

	石　垣　名	石番号	刻印種別	備考
1	二之丸西側虎口石垣東面	No.30	石裏面	
2	〃	No.55	石下面　大　石側面	
3	〃	No.59	石上面	
4	〃	No.84	石裏面 △	
5	〃	No.105	石側面	
6	〃	No.163	石裏面	
7	〃	No.166	石前面	
8	〃	No.186	石上面	
9	〃	No.187	石上面	
10	〃	根石A	石上面	
11	〃	根石B	石上面	

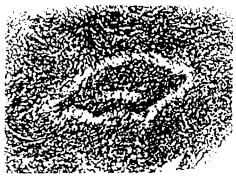




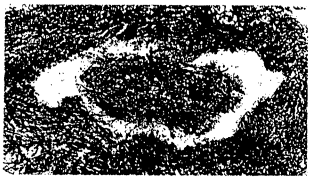


0　5 m

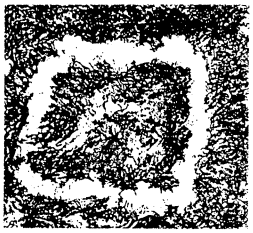
第70図　二之丸西側虎口石垣刻印調査



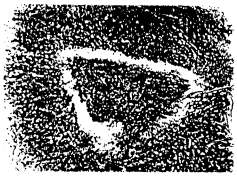
No.30 裏面



No.163 裏面

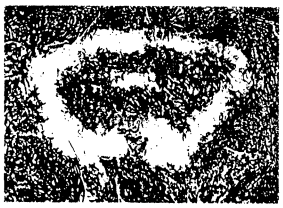


No.55 下面



No.166 石垣面

No.186 上面

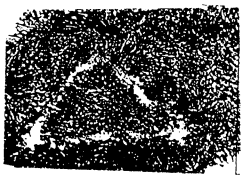


No.55 側面

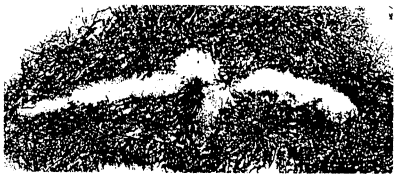
No.187 上面

No.59 上面

根石A上面



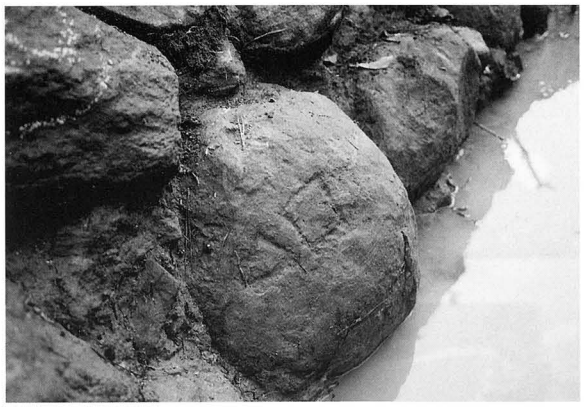
No.84 裏面



根石B上面

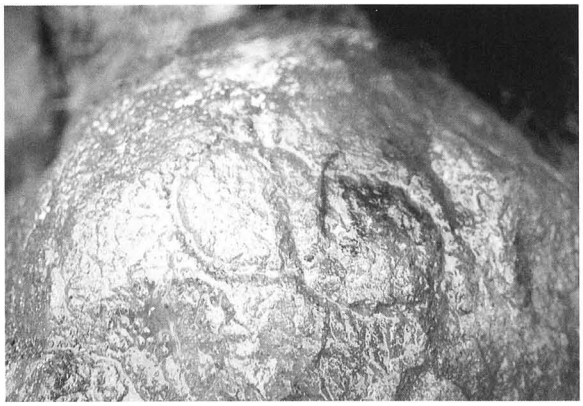
No.105 側面

第71図　二之丸西側虎口石垣刻印拓本



大手門跡東側取付石垣北側根石刻印

大手門跡東側取付石垣No.白117刻印



大手門跡東側取付石垣No.白117刻印

大手門跡東側取付石垣No.白117刻印

大手門跡東側取付石垣No.白117刻印

大手門跡東側取付石垣No.黄8刻印

大手門跡東側取付石垣No.白(83)刻印

大手門跡東側取付石垣No.白(96)刻印

大手門跡東側取付石垣No.白(55)刻印

大手門跡東側取付石垣No.白(61)刻印

大手門跡東側取付石垣No.白(86)刻印

石垣刻印(No.30)

二之丸西側虎口石垣刻印(根石B)

二之丸西側虎口石垣刻印(解体範囲北側)

出土遺物観察表

No.	種　別	出土地点	法　量（cm）	概　要
1	軒丸瓦	一之門前	瓦当面径 17.2	軒丸瓦Ａ－１類
2	軒丸瓦	二之門脇基盤層上面	瓦当面径 14.0	軒丸瓦Ａ－２類
3	軒丸瓦	武具櫓跡盛土中	瓦当面径 15.8	軒丸瓦Ａ－２類
4	軒丸瓦	二之門脇基盤層上面	瓦当面径 17.0	軒丸瓦Ａ－３ａ類
5	軒丸瓦	武具櫓跡表土下	瓦当面径 16.5	軒丸瓦Ａ－３ａ類
6	軒丸瓦	武具櫓跡撹乱土壙中	瓦当面径 15.7	Ａ－５類
7	軒丸瓦	二之門脇基盤層上面	瓦当面径 15.0	軒丸瓦Ｂ－１類
8	軒丸瓦	二之門脇表土下	瓦当面径 15.5	軒丸瓦Ｂ－２類
9	軒平瓦	二之門脇基盤層上面	瓦当面幅 24.2	軒平瓦ａ－１ｂ類
10	軒平瓦	二之門脇基盤層上面	瓦当面残存幅 12.0	軒平瓦ａ－２類
11	軒平瓦	武具櫓跡盛土中	瓦当面残存幅 12.0	軒平瓦ａ－２類
12	軒平瓦	二之門脇基盤層上面	瓦当面残存幅 15.0	軒平瓦ａ－４類
13	軒平瓦	一之門前	瓦当面幅 20.8	軒平瓦ｂ－１ａ類
14	軒平瓦	二之門脇基盤層上面	瓦当面残存幅 16.0	軒平瓦ｂ－１ｂ類
15	軒平瓦	武具櫓跡撹乱土壙中	瓦当面残存幅 14.0	軒平瓦ｂ－３類
16	軒丸瓦	南櫓跡東側排水路	瓦当面径 16.2	軒丸瓦Ａ－３ａ類
17	軒丸瓦	南櫓跡北東区	瓦当面径 16.0	軒丸瓦Ａ－１類
18	軒丸瓦	南櫓跡東側排水路	瓦当面径 15.5	軒丸瓦Ｂ－２類
19	軒平瓦	中櫓跡北側排水路	瓦当面幅 29.5	軒平瓦ａ－２類
20	軒平瓦	南櫓跡黒色土上面	瓦当面残存幅 16.5	軒平瓦ａ－２類
21	軒平瓦	南櫓跡黒色土上面	瓦当面残存幅 14.0	軒平瓦ａ－２類
22	軒平瓦	南櫓跡東側排水路	瓦当面残存幅 5.0	軒平瓦ｂ－１ａ or ｂ類
23	軒平瓦	南櫓跡東側排水路	瓦当面残存幅 12.0	軒平瓦ｂ－１ａ類
24	鬼瓦	中櫓	残存長 16.3、残存幅 13.5、最大厚 3.6	口部破片
25	大棟瓦	南櫓跡	残存長 19.2、残存幅 12.0、最大厚 5.2	（色調）黒灰色
26	鯱瓦	中櫓跡北側排水路	残存長 10.5、残存幅 9.0、最大厚 3.2	胸鰭部破片 裏面にヘラ書き「右」あり
27	鯱瓦	太鼓櫓跡表土下	残存長 8.0、残存幅 6.0、最大厚 1.7	胸鰭部破片
28	輪違瓦	南櫓跡	全長 15.0、最大幅 14.6	内面に布目痕跡あり
29	玉縁式丸瓦	中櫓跡北側排水路	全長 27.8、最大幅 15.4	内面に糸切り痕跡あり
30	玉縁式丸瓦	太鼓櫓跡	全長 27.5、最大幅 16.0	内面に糸切り痕跡あり
31	かわらけ・皿	南櫓跡黒色土中	口径 11.6、器高 2.7	かわらけ３類 内面に煤付着（灯明血？）
32	かわらけ・皿	南櫓跡黒色土中	口径 12.0、器高 2.7	かわらけ３類 内面に煤付着（灯明血？）
33	かわらけ・皿	南櫓跡南東区	口径 10.2、底径 6.0、器高 1.9	かわらけ２類
34	かわらけ・皿	南櫓跡黒色土上面	口径 12.4、器高 2.5	かわらけ３類 内面の一部に煤付着
35	染付磁器・皿	太鼓櫓跡西方	口径 13.8、高台径 7.6、器高 3.4	内面および外面に文様帯あり

No.	種　　別	出　土　地　点	法　　量（cm）	概　　要
36	染付磁器・皿	太鼓櫓跡西方	口径 12.2、高台径 7.4、器高 2.5	蛇の目凹形高台 内面に文様あり（梅花、波）
37	染付磁器・蓋	太鼓櫓跡西方	口径 9.9、つまみ径 3.9、器高 3.0	外面に文様あり（花文） 内面に文様あり（雷文）
38	染付磁器・猪口	太鼓櫓跡西方	口径 6.7、底径 7.6、器高 5.7	外面に文様あり（松）
39	器種不明	太鼓櫓跡	残存長 6.2、厚さ1.3	鱗状の文様に赤色顔料が残る
40	陶器・鉢	南櫓跡北東区	口径 34.2	口縁部内外面に茶褐色の施釉
41	鎹	南櫓跡南西区	全長 13.6	
42	鉄釘	南櫓跡黒色土上面	残存長 5.5	
43	鉄釘	南櫓跡東側排水路	残存長 5.7	
44	鉄釘	中櫓跡第２層	残存長 5.9	
45	鉄釘	中櫓跡第２層	残存長 6.1	
46	鉄釘	太鼓櫓跡サブトレ中	残存長 6.5	
47	鉄釘	太鼓櫓跡サブトレ中	残存長 6.3	
48	陶器・甕	太鼓櫓西方	口径 27.0、底径 18.5、器高 40.0（推定）	内外面に暗茶褐色の釉がかかる
49	軒丸瓦	ＳＫ－01下層部	瓦当面径 16.0	軒丸瓦Ｃ－１類
50	軒丸瓦	ＳＫ－01上面	瓦当面径 17.2	軒丸瓦Ａ－１類
51	軒丸瓦	ＳＫ－01第５層	瓦当面径 15.0	軒丸瓦Ａ－２類
52	軒丸瓦	ＳＫ－01第２層	瓦当面径 15.0	軒丸瓦Ａ－３ａ類
53	軒丸瓦	ＳＫ－01第１層	瓦当面径 16.0	軒丸瓦Ａ－４類
54	軒平瓦	ＳＫ－01第４層	瓦当面残存幅 15.0	軒平瓦ａ－１ｂ類
55	軒平瓦	ＳＫ－01第３層	瓦当面残存幅 13.5	軒平瓦ａ－２類
56	軒平瓦	ＳＫ－01第４層	瓦当面残存幅 11.0	軒平瓦ａ－１ｂ類
57	陶器・皿	ＳＫ－01第３層	口径 12.6、高台径 4.6、器高 3.7	内面に砂目積み痕跡あり 内面～外面にかけて白濁した釉がかかるが、底部周辺は無釉
58	陶器・皿	ＳＫ－01第５層	口径 13.2、高台径 4.4、器高 3.7	内面に砂目積み痕跡あり 内面～外面にかけて白濁した釉がかかるが、底部周辺は無釉
59	陶器・皿	ＳＫ－01第４～５層	口径 14.6、高台径 5.0、器高 4.4	内面に砂目積み痕跡あり 内面～外面にかけて白濁した釉がかかるが、底部周辺は無釉
60	陶器・碗	ＳＫ－01第５層	口径 12.0、高台径 4.4、器高 7.0	内面に文様あり
61	陶器・皿	ＳＫ－01	口径 12.2	内面～外面にかけて釉がかかるが、底部周辺は無釉
62	陶器・碗	ＳＫ－01第５層	口径 9.6、高台径 4.3、器高 7.0	内面～外面にかけて釉がかかる
63	陶器・鉢	ＳＫ－01	口径 40.8、高台径 12.2、器高 10.8	内面～外面にかけて釉がかかるが、底部周辺は無釉
64	陶器・鉢	ＳＫ－01	口径 43.4、残存高 9.4	
65	かわらけ・皿	ＳＫ－01第１層	口径 9.8、器高 2.2	かわらけ１類
66	かわらけ・皿	ＳＫ－01第１層	口径 12.6	かわらけ３類
67	かわらけ・皿	ＳＫ－01第１層	口径 13.6	かわらけ３類

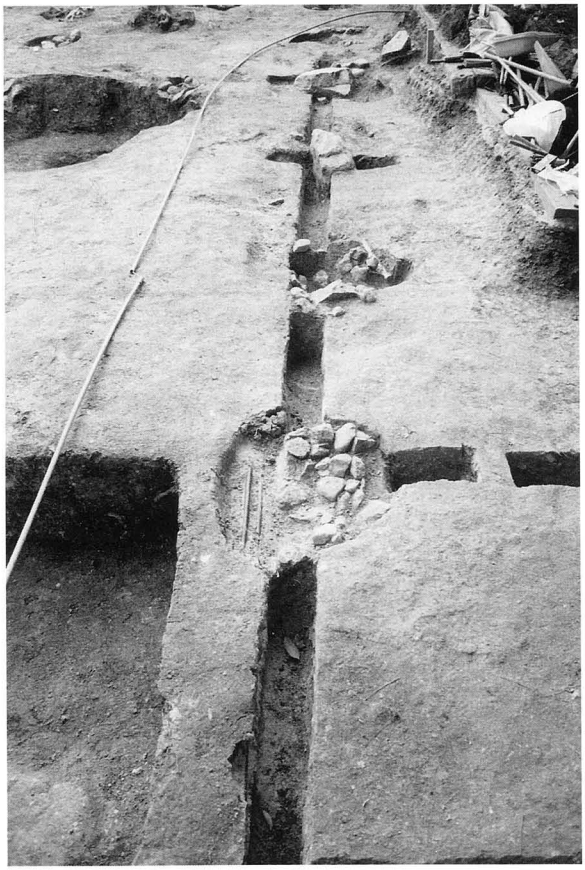
No.	種　　別	出　土　地　点	法　　量（cm）	概　　要
68	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第１層	口径 13.6	かわらけ３類
69	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第１層	口径 14.2、器高 2.6	かわらけ４類
70	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 10.6	かわらけ１類
71	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 12.2、器高 2.5	かわらけ３類
72	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 12.4、器高 2.6	かわらけ３類
73	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 12.8、器高 2.3	かわらけ３類
74	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 12.8、器高 2.7	かわらけ３類
75	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 12.8、器高 2.6	かわらけ３類
76	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 12.8、器高 2.6	かわらけ３類・口縁部に煤付着
77	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 12.8、器高 3.0	かわらけ３類・口縁部に煤付着
78	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 14.0、器高 2.7	かわらけ４類
79	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 14.6、器高 2.5	かわらけ４類
80	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 15.4、器高 2.4	かわらけ４類
81	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 15.4、器高 2.4	かわらけ４類
82	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 15.4、器高 2.5	かわらけ４類
83	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 15.4、器高 2.5	かわらけ４類
84	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 16.8、器高 2.7	かわらけ４類
85	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第２層	口径 17.0、器高 2.5	かわらけ４類
86	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 9.4、器高 1.9	かわらけ１類
87	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 9.4、器高 2.2	かわらけ１類
88	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 9.8、器高 1.9	かわらけ１類
89	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 9.8、器高 2.1	かわらけ１類
90	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 10.2、器高 2.1	かわらけ２類
91	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 10.2、器高 2.3	かわらけ２類
92	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 11.8、器高 2.8	かわらけ３類
93	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 11.8、器高 2.5	かわらけ３類
94	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 12.2、器高 2.8	かわらけ３類
95	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 12.2、器高 3.0	かわらけ３類・口縁部に煤付着
96	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 12.4、器高 2.6	かわらけ３類
97	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 12.6、器高 2.8	かわらけ３類
98	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 12.8、器高 2.3	かわらけ３類
99	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 13.0、器高 2.8	かわらけ３類
100	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 13.0、器高 3.1	かわらけ３類
101	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 13.0、器高 3.5	かわらけ３類
102	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 13.2、器高 3.9	かわらけ３類
103	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 14.6、器高 2.5	かわらけ４類
104	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 15.0、器高 2.4	かわらけ４類
105	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 15.2、器高 2.5	かわらけ４類
106	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 15.4、器高 2.2	かわらけ４類
107	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 15.4、器高 2.6	かわらけ４類
108	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 15.4、器高 2.5	かわらけ４類
109	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 15.4、器高 2.5	かわらけ４類
110	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 17.8、器高 2.8	かわらけ４類
111	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 18.4、器高 2.4	かわらけ４類
112	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 18.8、器高 2.6	かわらけ４類
113	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第３層	口径 19.2、器高 2.4	かわらけ４類
114	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 10.2、器高 2.1	かわらけ１類

No.	種　　別	出　土　地　点	法　　量（cm）	概　　要
115	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 10.0、器高 2.3	かわらけ２類
116	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 11.0、器高 2.1	かわらけ２類・口縁部に煤付着
117	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 11.6、器高 2.1	かわらけ３類
118	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 11.6、器高 2.5	かわらけ３類
119	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 12.6、器高 2.6	かわらけ３類
120	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 12.4、器高 2.8	かわらけ３類・口縁部に煤付着
121	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 12.6、器高 2.7	かわらけ３類・口縁部に煤付着
122	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 12.8、器高 2.9	かわらけ３類・口縁部に煤付着
123	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 12.8、器高 2.4	かわらけ３類
124	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 13.0、器高 2.3	かわらけ３類
125	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 13.6、器高 2.9	かわらけ３類
126	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 13.0、器高 2.8	かわらけ３類・口縁部に煤付着
127	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第４層	口径 15.6、器高 2.5	かわらけ４類
128	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 9.8、器高 2.1	かわらけ１類
129	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 10.0、器高 2.4	かわらけ１類
130	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 10.6、器高 3.0	かわらけ２類・内面に煤付着
131	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 11.2、器高 1.9	かわらけ２類・口縁部に煤付着
132	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 10.6、器高 2.1	かわらけ２類
133	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 11.0、器高 2.1	かわらけ２類
134	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 11.0、器高 2.1	かわらけ２類
135	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 11.8、器高 2.5	かわらけ２類
136	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 12.2、器高 2.7	かわらけ３類・口縁部に煤付着
137	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 13.2、器高 2.8	かわらけ３類・口縁部に煤付着
138	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 12.4、器高 2.7	かわらけ３類
139	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 12.4、器高 2.7	かわらけ３類
140	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 12.6、器高 3.1	かわらけ３類
141	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 15.0、器高 2.7	かわらけ４類・口縁部に煤付着
142	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 14.0、器高 2.4	かわらけ４類
143	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 15.4、器高 2.7	かわらけ４類
144	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 15.4、器高 2.4	かわらけ４類
145	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 16.0、器高 2.4	かわらけ４類
146	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 17.2、器高 2.9	かわらけ４類
147	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 17.4、器高 3.0	かわらけ４類
148	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 17.0、器高 3.0	かわらけ５類
149	かわらけ・Ⅲ	ＳＫ－01第５層	口径 19.0、器高 3.7	かわらけ５類
150	軒丸瓦	Ｔ－８拡張区上面	瓦当面径 16.2	軒丸瓦Ａ－１類
151	軒丸瓦	Ｔ－６井戸跡西	瓦当面径 15.6	軒丸瓦Ａ－３ａ類
152	軒丸瓦	Ｔ－８、ＳＫ－02下層	瓦当面径 16.3	軒丸瓦Ａ－３ａ類
153	軒丸瓦	Ｔ－８瓦溜中	瓦当面径 15.6	軒丸瓦Ｂ－２類
154	軒平瓦	Ｔ－８、ＳＫ－02上層	瓦当残存幅 14.5	軒丸瓦ａ－１ｂ類
155	軒平瓦	Ｔ－８、ＳＫ－02底部	瓦当残存幅 13.0	軒丸瓦ａ－２類
156	軒平瓦	Ｔ－８	瓦当残存幅 17.5	軒丸瓦ｂ－１ａ類
157	輪違瓦	Ｔ－８瓦溜中	全長 15.4、最大幅 13.4	内面に布目痕跡あり
158	玉縁式丸瓦	Ｔ－８、ＳＫ－02底部	残存長 17.8、最大幅 16.0	内面に糸切り痕跡あり
159	かわらけ・Ⅲ	Ｔ－４	口径 11.4、器高 2.6	かわらけ３類・口縁部に煤付着
160	かわらけ・Ⅲ	Ｔ－４～５間トレンチ	口径 13.0、器高 2.9	かわらけ３類・口縁部に煤付着
161	かわらけ・Ⅲ	Ｔ－６井戸跡石組下	口径 12.4	かわらけ３類

No.	種　　別	出　土　地　点	法　　量（cm）	概　　要
162	かわらけ・Ⅲ	Ｔ－９園路南トレンチ	口径 14.0	かわらけ４類
163	かわらけ・Ⅲ	Ｔ－４水路下ピット	口径 10.8	かわらけ１類
164	かわらけ・Ⅲ	Ｔ－６井戸跡東	口径 11.0	かわらけ３類
165	かわらけ・Ⅲ	Ｔ－６井戸跡石組下	口径 12.0	かわらけ３類
166	かわらけ・Ⅲ	Ｔ－８、ＳＫ－02底部	口径 12.6	かわらけ３類
167	かわらけ・Ⅲ	Ｔ－４	口径 17.0、器高 2.5	かわらけ４類
168	染付磁器・碗	Ｔ－５土壙中	口径 12.2	外面に花文、口縁部内面に雷文を施す
169	染付磁器・Ⅲ	Ｔ－８拡張区	口径 20.5、器高 2.7	内面に花文を施す
170	染付磁器・碗	Ｔ－４～５間トレンチ	口径 6.4、器高 6.3	外面に文様を施す
171	軒丸瓦	西之門跡遺構面	瓦当面径 16.1	軒丸瓦Ａ－３ａ類
172	軒丸瓦	西之門跡覆土中	瓦当面径 16.4	軒丸瓦Ｂ－２類
173	軒平瓦	西之門跡覆土中	瓦当面残存幅 15.0	軒平瓦ｂ－１ｂ類
174	軒平瓦	西之門跡覆土中	瓦当面残存幅 16.4	軒平瓦ｂ－２類
175	瓦質製品	西之門跡覆土中	残存長 10.0、残存幅 11.0	（器種不明）
176	染付磁器・碗	西之門跡西南隅	口径 20.3、器高 7.0、高台径 10.3	内面に唐草文あり
177	染付磁器・碗	西之門跡覆土中	口径 8.6、器高 4.7、高台径 3.3	外面に梅花文あり
178	軒丸瓦	馬溜南腰石垣	瓦当面径 15.0	軒丸瓦Ａ－２類
179	軒丸瓦	馬溜南腰石垣	瓦当面径 17.0	軒丸瓦Ａ－３ａ類
180	軒丸瓦	馬溜南腰石垣	瓦当面径 16.2	軒丸瓦Ｂ－２類
181	軒平瓦	馬溜桝形南	瓦当面残存幅 13.5	軒平瓦ａ－２類
182	軒平瓦	馬溜桝形南	瓦当面残存幅 11.0	軒平瓦ａ－２類
183	染付磁器・Ⅲ	馬溜井戸Ｂ付近	高台径 6.7	高台内部に「乾」の篆書体あり
184	染付磁器・Ⅲ	馬溜井戸Ｂ付近	口径 11.2、器高 2.3、高台径 6.2	内面に梅花文あり
185	染付磁器・Ⅲ	馬溜井戸Ｂ付近	口径 19.6、器高 2.9、高台径 10.8	内外面に文様あり
186	染付磁器・鉢	馬溜井戸Ａ埋土中	底径 15.8	内外面に鶴、竹など文様あり
187	陶器・鉢？	馬溜南腰石垣	胴部径 32.8	方形の胴部に脚と耳が付く 胴部外面には草花文がある
188	軒丸瓦	大手門跡番所内溝中	瓦当面径 16.2	軒丸瓦Ａ－１類
189	軒丸瓦	大手門跡番所内溝中	瓦当面径 16.8	軒丸瓦Ａ－３ａ類
190	軒丸瓦	大手門跡番所内溝中	瓦当面径 16.8	軒丸瓦Ａ－３ａ類
191	軒丸瓦	大手門跡番所内溝中	瓦当面径 15.4	軒丸瓦Ａ－３ａ類
192	軒丸瓦	大手門跡番所内溝中	瓦当面径 16.4	軒丸瓦Ｂ－１類
193	軒丸瓦	大手門跡番所内	瓦当面径 14.7	軒丸瓦Ｂ－１類
194	軒丸瓦	大手門跡番所内溝中	瓦当面径 17.2	軒丸瓦Ｂ－２類
195	かわらけ・Ⅲ	大手門跡番所内溝中	口径 11.0、器高 2.3	かわらけ２類・外面に煤付着
196	かわらけ・Ⅲ	大手門跡番所内溝中	口径 9.2、器高 1.8	かわらけ２類・口縁部に煤付着
197	かわらけ・Ⅲ	大手門跡番所内溝中	口径 9.6、器高 2.0	かわらけ２類・口縁部に煤付着
198	かわらけ・Ⅲ	大手門跡番所内溝中	口径 11.2、器高 2.2	かわらけ２類
199	かわらけ・Ⅲ	大手門跡番所内溝中	口径 10.8、器高 2.0	かわらけ２類
200	かわらけ・Ⅲ	大手門跡番所内溝中	口径 10.2、器高 2.0	かわらけ２類
201	かわらけ・Ⅲ	大手門跡番所内溝中	口径 8.0、器高 1.4	かわらけ２類
202	かわらけ・Ⅲ	大手門跡番所内溝中	口径 8.0、器高 2.0	かわらけ２類・すす付着

No.	種　　別	出　土　地　点	法　　量（cm）	概　　要
203	白磁？・皿	大手門跡南側	口径 9.8、器高 2.0、底径 5.5	内面に唐獅子、牡丹の文様あり
204	白磁・皿	大手門跡南側	口径 8.7、器高 2.1、底径 4.3	内面に陰刻の文様あり
205	白磁・皿	大手門跡南側	口径 10.0、器高 2.1、底径 5.6	文様なし
206	磁器・小皿	大手門跡南側排水路跡	口径 4.9、器高 1.4	内面のみ施釉
207	染付磁器・碗	馬溜南腰石垣	口径 8.3、器高 4.2、底径 3.2	外面に文様あり
208	磁器・碗	大手門跡南側排水路跡	口径 11.0、器高 5.1、底径 4.8	文様なし、高台部は無釉
209	染付磁器・蓋	大手門跡南側排水路跡	口径 9.2、器高 2.7、つまみ径 3.4	外面に瓢箪、花、内面に雷文あり つまみ内部に「乾」の篆書体あり
210	染付磁器・蓋	大手門跡南側	口径 9.2	内外面に文様帯あり
211	染付磁器・皿	大手門跡南側排水路跡	口径 10.2、器高 2.4、底径 6.4	内面に湖沼、灯篭の文様を描く
212	染付磁器・皿（八角皿）	大手門跡南側	口径 17.2、器高 6.2、底径 7.2	内外面に文様あり
213	染付磁器・皿	大手門跡南側排水路跡	口径 16.8、器高 2.9、底径 10.6	外面に文様あり
214	染付磁器・台付皿	大手門跡南側排水路跡	底径 8.8	坏部内面、脚部外面に文様あり
215	染付磁器・段重	大手門跡南側排水路跡	口径 14.8	外面に文様あり
216	染付磁器・徳利	大手門跡南側排水路跡	底径 5.6	外面に文様あり
217	陶器・台付灯火受付皿	大手門跡南側排水路跡	口径 7.0、器高 6.7、受部径 9.8、底径 8.0	高台部無釉、内面に煤付着 受部 2 箇所に穿孔あり
218	陶器・鉢	大手門跡南側	口径 20.0	上半部のみに茶褐色釉がかかる
219	陶器・壷	大手門跡番所内	口径 9.2、器高 10.8、底径 7.4	上半部のみに茶褐色釉がかかる把手付き
220	陶器・鉢	大手門跡南側排水路跡	口径 24.5、器高 7.2、底径 5.0	内面に草花文あり

武具櫓跡全景（北方より）



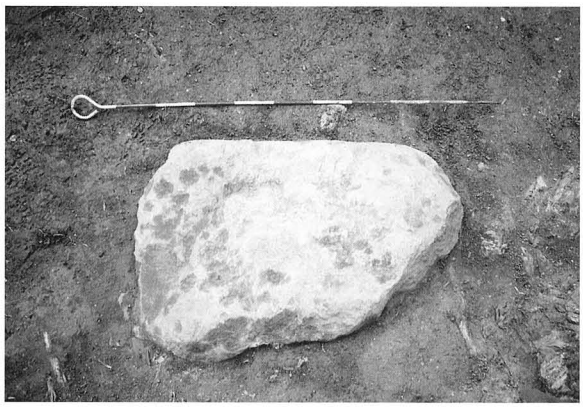
武具櫓跡桁行西通り（北方より）

武具櫓跡桁行中央通り（北方より）

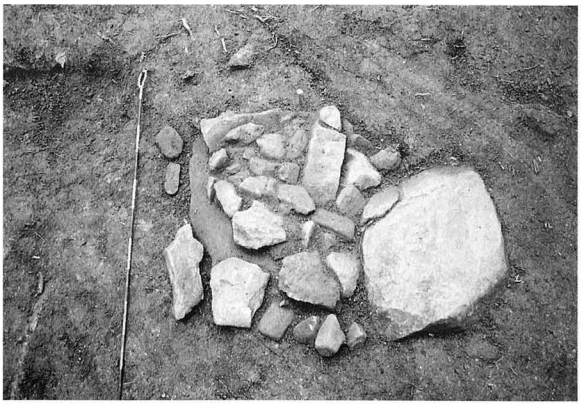
武具櫓跡梁間南通り（西方より）

武具櫓跡北東隅部分（西方より）

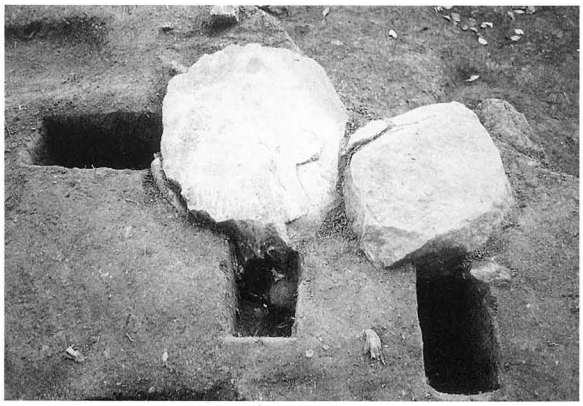
武具櫓跡石垣裏込状況（南辺）



武具櫓跡Ｓ－１（北方より）



武具櫓跡Ｓ－２，３検出状況（北方より）



武具櫓跡Ｓ－２，３完掘状況（北方より）

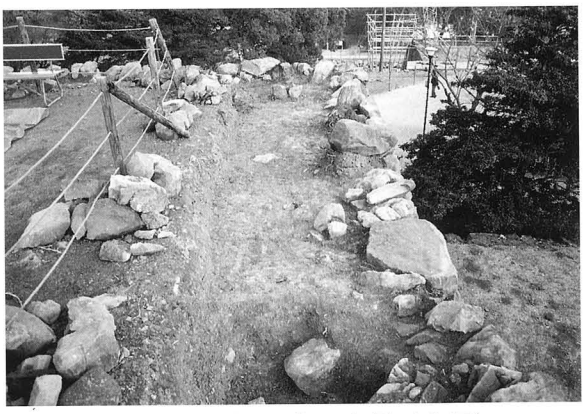
武具櫓跡Ｓ－４（北方より）

武具櫓跡Ｓ－５（東方より）

武具櫓跡Ｐ－14（北方より）

武具櫓跡中央撹乱土拡（東方より）

一之門前石垣調査区全景（東辺）



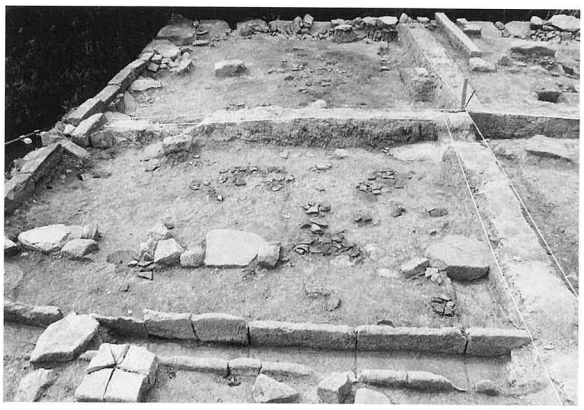
一之門前石垣調査区全景（南辺）

二之門脇調査区全景（北方より）

二之門北側多門礎石列（北方より）

二之門脇調査区南辺

南櫓跡全景（北方より）



南櫓跡黒色土上面遺物出土状況（東方より）

南櫓跡鬼瓦検出状況

南櫓跡Ｐ－２

南櫓跡東方排水路（北方より）

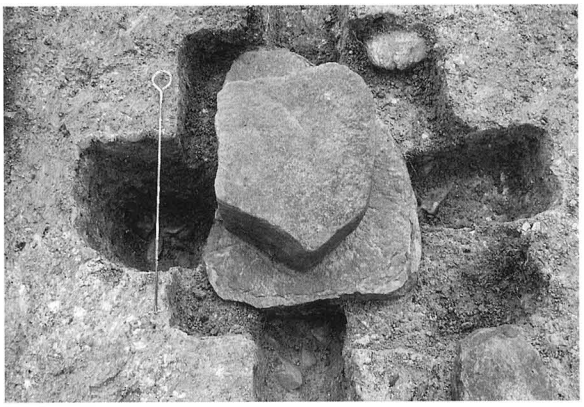
南櫓跡礎石裾部断ち割り状況

南櫓跡Ｓ１～３（西方より）

南櫓跡Ｓ－３～６（西方より）

南櫓跡Ｓ－１ａ，ａ－１ｂ（北方より）

南櫓跡Ｓ－１ａ，Ｓ－１ｂ（西方より）

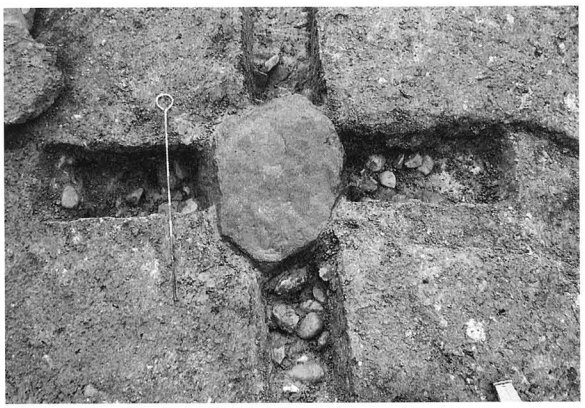


南櫓跡Ｓ－２ａ，Ｓ－２ｂ（北方より）

南櫓跡Ｓ－２ａ，Ｓ－２ｂ（西方より）

南櫓跡Ｓ－３ａ，Ｓ－３ｂ（北方より）

南櫓跡Ｓ－３ａ，Ｓ－３ｂ（西方より）

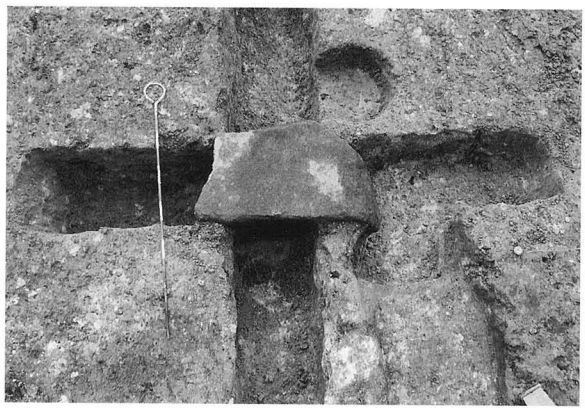


南櫓跡Ｓ－４（北方より）

南櫓跡Ｓ－４（西方より）

南櫓跡Ｓ－５（北方より）

南櫓跡Ｓ－５（西方より）



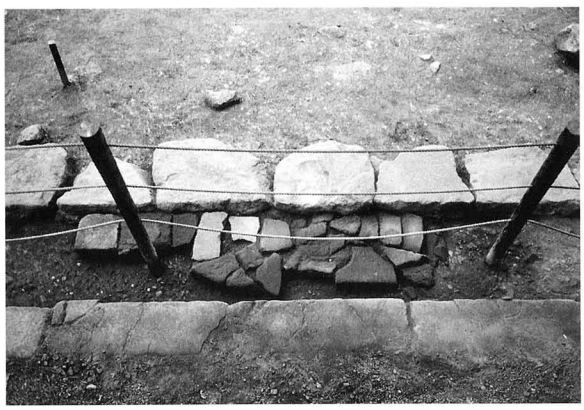
南櫓跡Ｓ－６（北方より）

南櫓跡Ｓ－６（西方より）

中櫓跡全景（北方より）

中櫓跡全景（南西より）

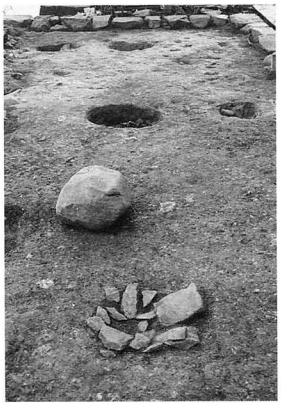
中櫓跡基壇北辺（西方より）



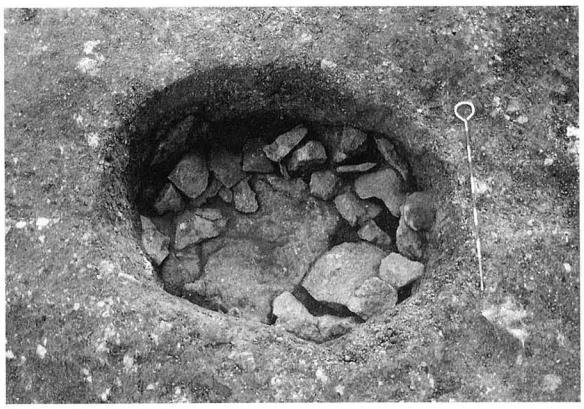
中櫓跡基壇西辺

中櫓跡基壇北東隅塀取付部（北方より）

中櫓跡基壇北辺撹乱状況



中櫓跡礎石抜取り痕跡（北方より）



中櫓跡Ｐ－２

中櫓跡周辺調査区Ａ区（北方より）

中櫓跡周辺調査区Ｂ区（西方より）

中櫓跡周辺調査区Ｃ区（北方より）

太鼓櫓跡全景（南方より）

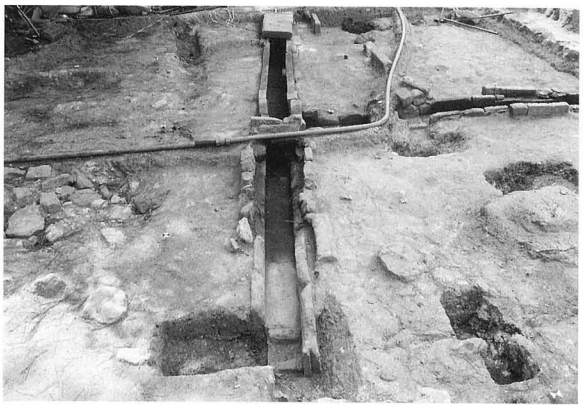
太鼓櫓跡Ｐ－２，３，５（西方より）

太鼓櫓跡Ｐ－２

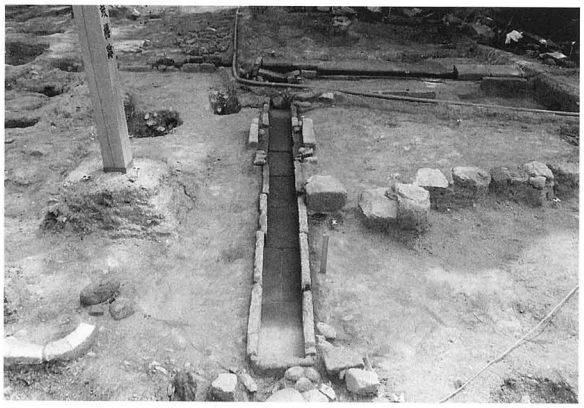
太鼓櫓跡Ｐ－３

太鼓櫓跡Ｐ－７

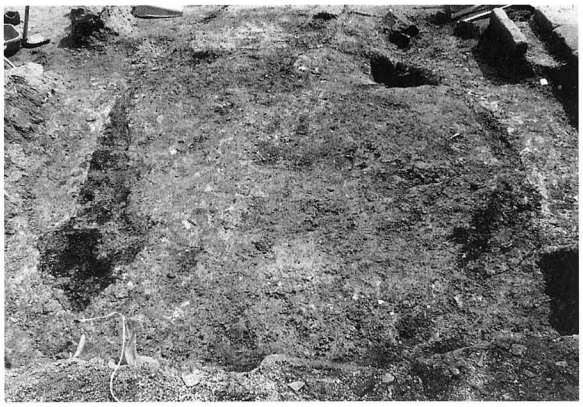
太鼓櫓跡梁間中通り（東方より）



太鼓櫓跡東西排水路（東方より）



太鼓櫓跡南北排水路（北方より）



SK－01検出状況（西方より）

SK－01土層堆積状況

SK－01完掘状況（北方より）

南口門跡全景（東方より）

南口門跡東側礎石抜取痕跡

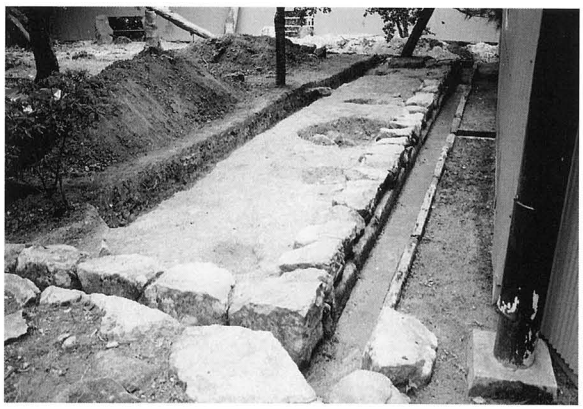
南口門跡西側礎石抜取痕跡

御廣間跡完掘状況（南西隅部）

御廣間跡完掘状況（北西隅部）

御廣間跡完掘状況（南辺）

御廣間跡完掘状況（東辺）

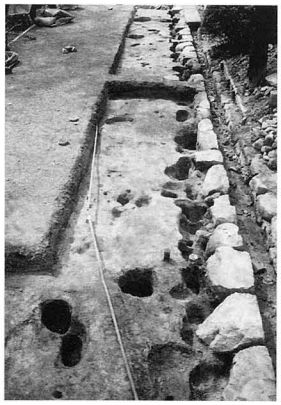


御廣間跡南辺排水路Ａ石列Ａ（南西より）

御廣間跡南辺排水路Ａ抜取り状況（東方より）

御廣間跡石列Ｃ（北方より）

下御臺所（だいどころ）跡完掘状況（東方より）



下御臺所跡完掘状況（北方より）

二之丸井戸跡完掘状況（東方より）

二之丸井戸跡完掘状況（北東より）

二之丸井戸跡完掘状況（南東より）

二之丸井戸跡ピット列P－20～23（北方より）

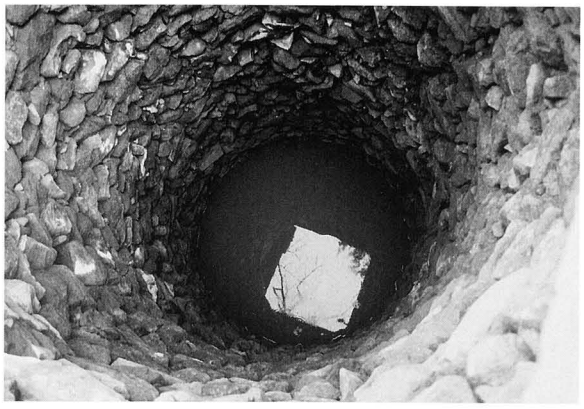
二之丸井戸跡ピット列P－20～23（南方より）

二之丸井戸跡ピット列P－24～27（北方より）

二之丸井戸跡ピット列P－24～27（南方より）

二之丸井戸跡近景（西方より）

二之丸井戸跡石組状況（北方より）

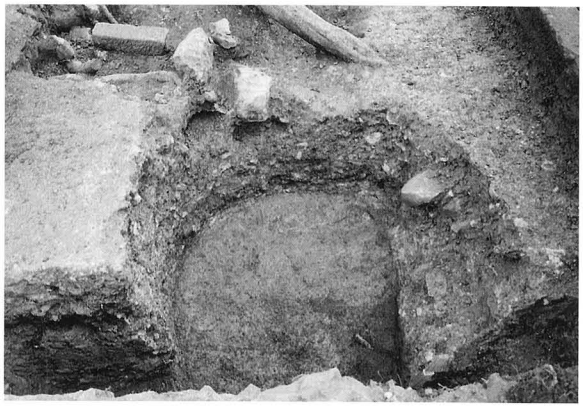


二之丸井戸跡底部状況

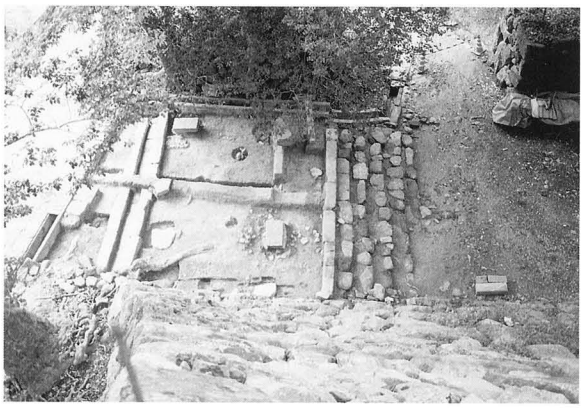
御式臺跡完掘状況（北方より）

玄関跡完掘状況（北方より）

玄関跡北側完掘状況（西方より）



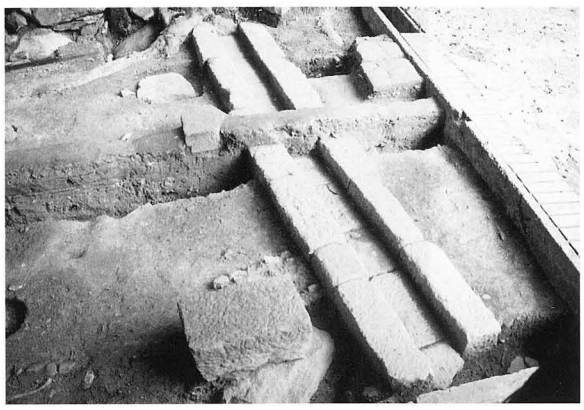
SK－02完掘状況（西方より）



西之門跡完掘状況

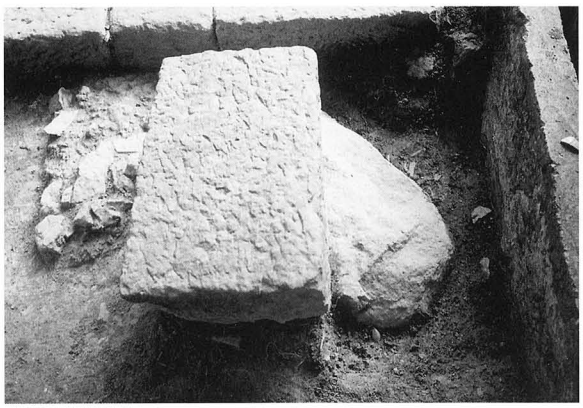
西之門跡近景（東方より）

西之門跡近景（北方より）

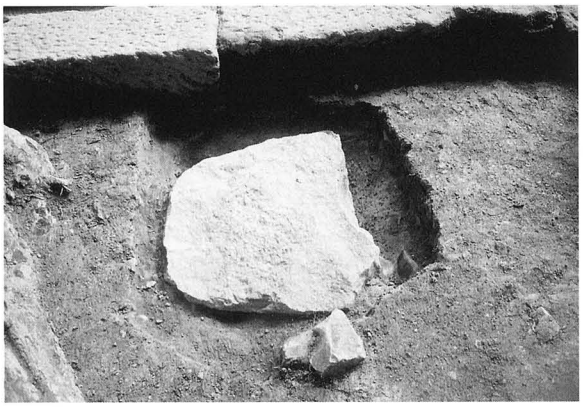


西之門跡南側礎石列および雨落溝（西方より）

西之門跡北側礎石列（西方より）



西之門跡Ｓ－１，Ｓ－４

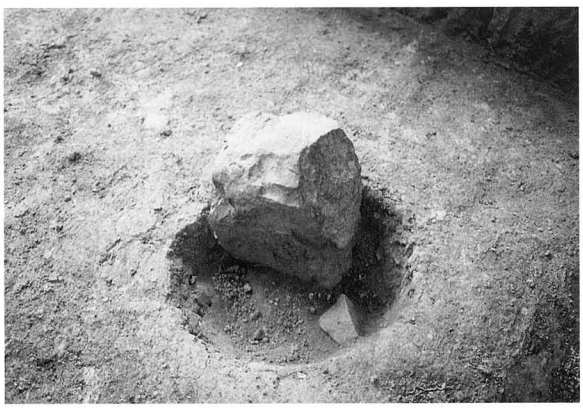


西之門跡Ｓ－５（北方より）

西之門跡Ｓ－３，Ｐ－２（南方より）

西之門跡Ｓ－２，Ｐ－１（南方より）

西之門跡Ｓ－６（南方より）



西之門跡Ｓ－７，Ｐ－３（東方より）

西之門跡Ｐ－４

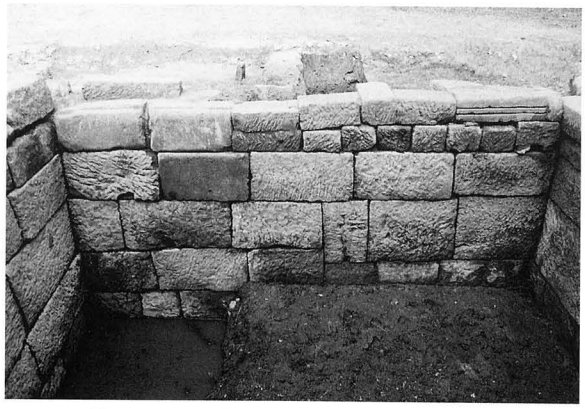
井戸跡Ａ全景（北方より）

井戸跡Ａ全景（南方より）

井戸跡Ａ北側石積状況（南方より）

井戸跡Ａ南側石積状況（北方より）

井戸跡Ａ西側石積状況（東方より）



井戸跡Ａ東側石積状況（西方より）

井戸跡Ｂ全景（東方より）

井戸跡Ｂ全景（北方より）

井戸跡Ｂ全景（南方より）

井戸跡Ｂ北側排水溝（東方より）

井戸跡Ｂ北側石積状況（南方より）

井戸跡Ｂ南側石積状況（北方より）

井戸跡Ｂ西側石積状況（東方より）

井戸跡Ｂ東側石積状況（西方より）

桝（ます）形南腰石垣（東方より）

桝形南腰石垣西端部（東方より）

桝形南腰石垣南東角部

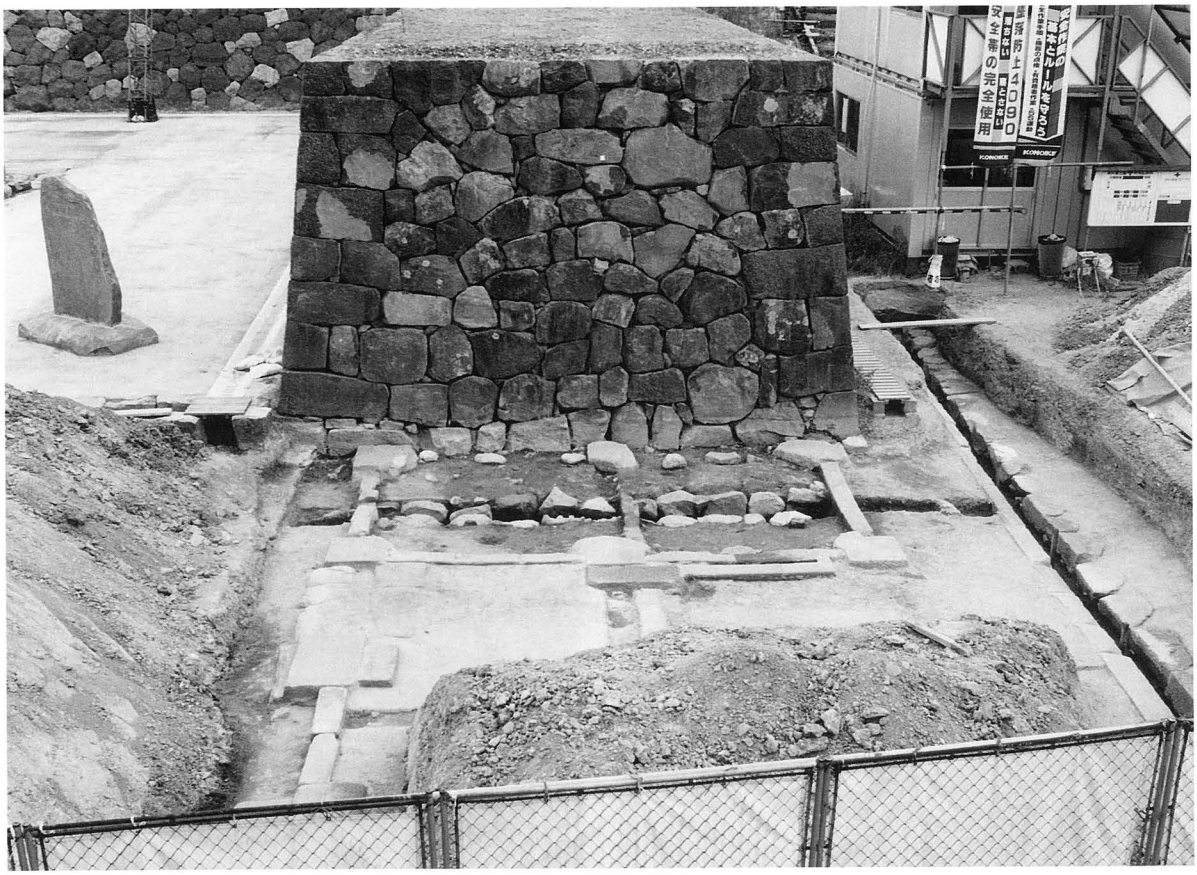
桝形南腰石垣石組水路３，４

左：石組水路３、右：石組水路４

井戸Ｂ周辺石組水路５

石組水路５（西方より）

石列１（北方より）



大手門跡西側調査区全景（東方より）

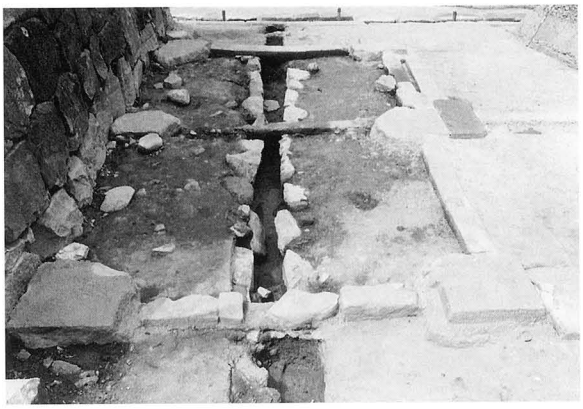
大手門跡西側調査区全景（西方より）

大手門跡西側調査区全景（南方より）

大手門跡東側調査区（左から礎石No. 5，9，21，13，23）

大手門跡東側調査区（左から礎石No. 6，10，14）

大手門跡南側中央部（西方より）



大手門跡西側番所跡全景（南方より）

大手門跡西側番所跡全景（北東より）

大手門跡南側雨落溝（東部）

大手門跡南側雨落溝（西部）

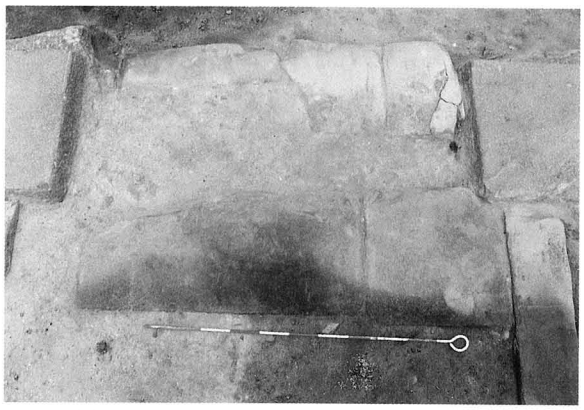
大手門跡南側雨落溝（抜取り痕跡）

大手門跡北側雨落溝（東方より）

大手門跡東側排水路（北方より）

礎石No. 1（北方より）

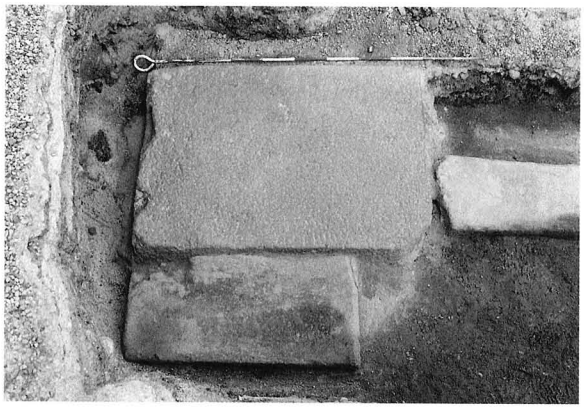
礎石No. 2（北方より）



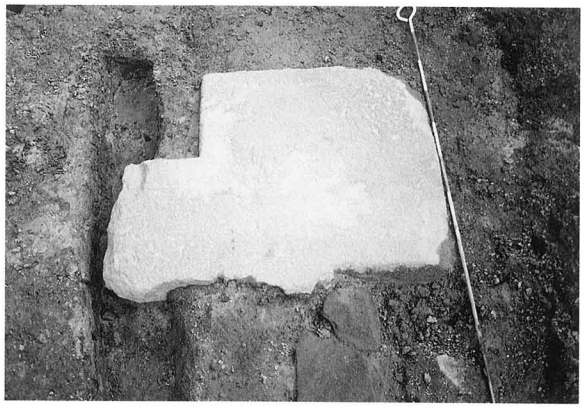
礎石No. 2 ～ 3 間通用口跡（北方より）

上：礎石No. 3 、下：礎石No.16（北方より）

上：踏石No.15、下：踏石No.18，17（北方より）



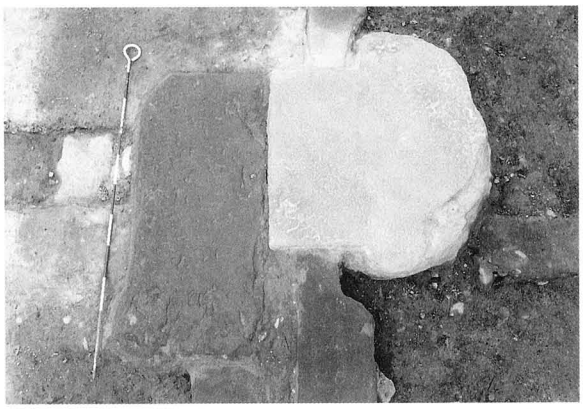
上：礎石No. 4 、下：礎石No.19（北方より）



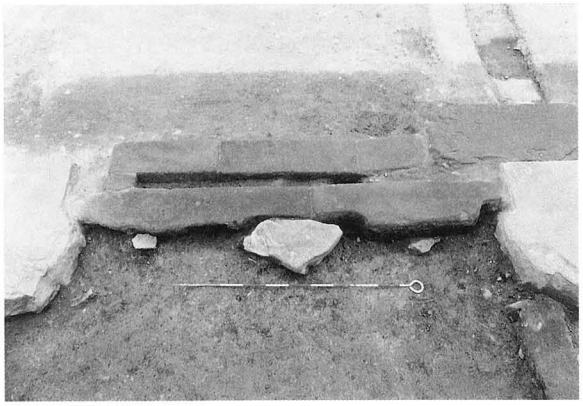
礎石No. 5（北方より）

礎石No. 6（西方より）

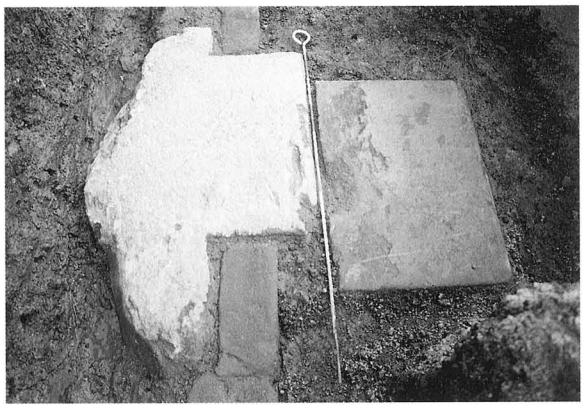
礎石No. 7（北方より）



左：礎石No.20、右：礎石No. 8（北方より）



番所跡入口部？（西方より）

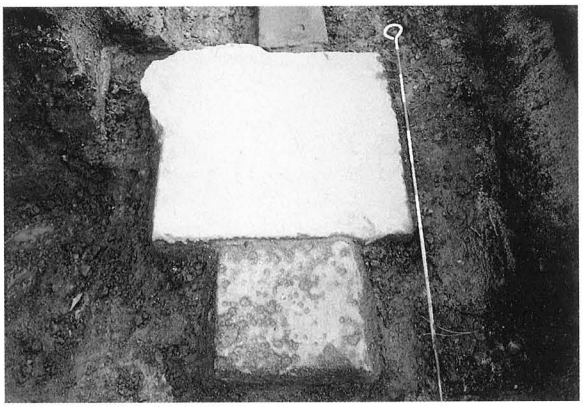


左：礎石No. 9 、右：礎石No.21（北方より）

礎石No.10（西方より）

上：礎石No.11、下：礎石No.22（北方より）

礎石No.12（北方より）

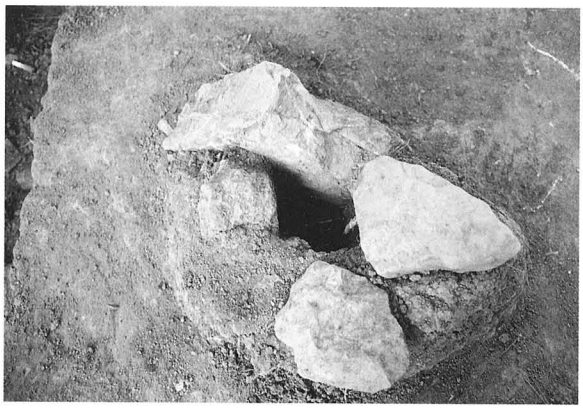


上：礎石No.13、下：礎石No.23（北方より）

左：礎石No.24、右：礎石No.14（西方より）

二之丸下ノ段南東角堀石垣全景（北方より）

塀控柱痕跡（Ｐ－１）



塀控柱痕跡（Ｐ－２）

A－1類

A－2類

A－3a類

A－3b類

A－4類

A－5類

B－1類

B－2類

B－3類

C－1類

a－1a類

a－5類

a－1a類

b－1a類

a－1b類

b－1b類

a－2類

b－2類

a－3類

b－2類

a－4類

b－3類

1

3

6

4

5

10

7

8

11

9

9

12

13

14

15

16

17

18

19

19（拡大）

20

21

23

22

24

24

26

26

25

25

27

27

28

29

30

31

32

33

34

35

35

36

36

37

37

38

39

40

41

42～47

48

48

48

48

49

49

50

51

52

53

56

54

55

57

58

59

57

58

59

57

58

59

60

61

62

63

63

62

64

64

70

86

88

91

86

88

91

86

88

91

97

99

113

97

99

113

97

99

113

121

122

131

121

122

131

121

122

131

141

148

150

141

148

151

141

148

152

156

153

157

157

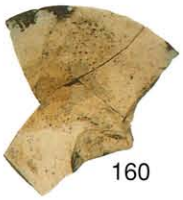
154

158

158

155

159


160

161

162

159

160

163

164

165

166

168

168

167

167

169

169

171

170

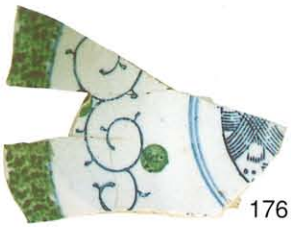
170

172

174

175

173


176

176

177

177

178

179

180

181

182

183

183

184

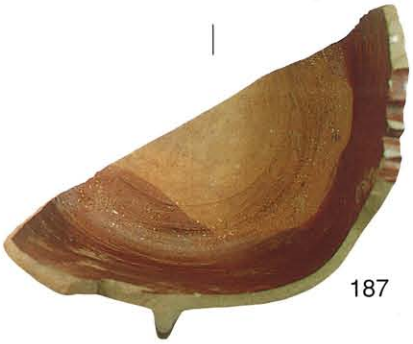
185

185

187

186

186


187

188

189

187

190

191

192

194

193

203

204

204

205

205

206

206

207

208

208

209

210

211

211

209

210

212

212

213

213

214

215

217

214

216

217

218

220

220

219

219

219

松江市文化財調査報告書　第88集－２

史跡松江城整備事業報告書

（第２分冊：調査編）

2001年３月

発　行　　松江市教育委員会
印　刷　　㈱谷口印刷